





支出調書

会派名	緑風会	代表者	経理責任者	起案者	
				大木	進 
区分	事由	費目・金額			小計
1 調査研究費		交通費		旅費	0
		自動車燃料費		資料作成費	
		調査委託費		振込料	
2 研修費	中核市サミット2020in倉敷 行政調査負担金	会場費		講師謝金	28,880
		出席者負担金・会費	28,000	交通費	
		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		食糧費	
		振込料	880		
3 広報費		会場費		交通費	0
		自動車燃料費		資料作成費	
		広報誌(紙)		報告書等印刷費	
		送料(折込料含む)		ウェブページ掲載代	
		茶菓子代		振込料	
4 広聴費		会場費		交通費	0
		自動車燃料費		資料作成費	
		茶菓子代		振込料	
5 要請・陳情活動費		交通費		旅費	0
		自動車燃料費		資料作成費	
		振込料			
6 会議費		会場費		交通費	0
		自動車燃料費		資料作成費	
		振込料			
7 資料作成費		印刷製本費		翻訳料	0
		筆耕料		振込料	
8 資料購入費		法規追録代		参考図書代	0
		新聞(日刊紙)購読料		雑誌等購読料	
		有料データベース等利用料		振込料	
9 人件費		賃金		社会保険料等	0
		振込料			
10 事務所費		備品購入費		事務機器等リース代	0
		消耗品等事務費		印刷代	
		振込料		配送手数料	
11 通信運搬・自動車燃料費		電話料等(按分)		郵便料等	0
		自動車燃料費(按分)		その他	
支出年月日	令和2年11月24日	現金出納簿 支出番号		合計	28,880

支出明細書兼支出証明書

支出番号  47/18

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	<input checked="" type="checkbox"/> 2 研修費	3 広報費	4 広聴費		出席者負担金・会費 ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費(郵便料等)				
支出目的 (支出事由)	中核市サミット2020in倉敷 負担金				
内 容	① 災害から「生き抜く」ためのまちづくり (真備・倉敷美観地区)				
	② コロナに「打ち勝つ」観光文化のまちづくり(倉敷美観地区)				
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額		
令和2年 9 月 24 日	株式会社 日本旅行		28,000円		
上記のとおり支出します。					
議員氏名 共 通 印					

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

該当するものに○(または✓)を表示します

振込金受取書(兼手数料受取書)

預金払戻請求書・預金口座振替による振込受付書(兼手数料受取書)

令和2年7月24日

お振込先

金融機関名(漢字)を左づめでご記入ください(東邦銀行の場合記入不要)

支店名(漢字)を左づめでご記入ください

東邦銀行

銀行 二十四番

出張所 支店

東邦銀行

銀行以外の場合は○をお付けください。

ご記入にあたってのお願い

太枠の中を黒ボールペンで強くご記入ください。
金額の先頭に¥マークをご記入ください。
濁点(・)、半濁点(゜)もマスを使用してご記入ください。

お預金種目

振込目的をお選びください

左づめでご記入ください

金額

1. 当座 2. 普通 4. 貯蓄 9. その他

6156805

28000

お受取カタカナ

トヨタファイナンスサービス株式会社

消費税込手数料 円 880

お名前

おなまえ(漢字)

株式会社 日本銀行 様

お受取カタカナ

トヨタファイナンスサービス株式会社

おなまえ(漢字)

0778644

トヨタファイナンスサービス株式会社 今村 剛司 様

おところ

おところ

日中ご連絡可能な電話番号

静岡県朝日町23-7 西台 054-724-2921

振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のために振込が遅延することがあります。
やむを得ない事由による通信機器、回線の障害等によって振込が遅延することもありますので、ご了承ください。

株式会社 東邦銀行

出2納
2.9.24
東邦銀行
郡山市役所支店

収入印紙
振込金受取書の場合、
振込金+手数料5万円
以上の場合200円貼付
振込金受取書の場合不納
3. 当座の本人口座への入
金は200円貼付

当行をご利用いただきましてありがとうございます

中核市サミット2020 in 倉敷

地域を創り、地域に生きる ～中核市が育む日本の力～

お申込のご案内



倉敷アイビースクエア（開催会場）

年間約330万人の観光客が訪れる倉敷美観地区。その中に建つ倉敷アイビースクエアは倉敷紡績所（現グラボウ）の旧工場を、ホテルや記念館などに改装した複合交流施設です。国の近代化産業遺産に指定され、2016年には伊勢志摩サミット関係閣僚会合「G7倉敷教育大臣会合」の主会場となりました。また2017年には、倉敷市の繊維産業とまちの発展を綴る日本遺産ストーリー「一輪の綿花から始まる倉敷物語」の構成文化財となっています。

【主催】 中核市市長会・倉敷市

【後援】 総務省・岡山県・全国市長会・全国市議会議長会・中核市議会議長会

【旅行企画・実施】 株式会社日本旅行 岡山支店

岡山市北区駅前町2-1-7 JR西日本岡山支社ビル1階

※ 参加の集約は開催事務局の依頼により株式会社日本旅行岡山支店が代行受付いたします。
参加の集約については、旅行契約には、該当いたしません。

1 | はじめに

この度は「中核市サミット2020 in 倉敷」が開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

サミット、行政視察のご参加のお申込みにつきましては、主催者からの委託を受け、株式会社日本旅行岡山支店にて受付させていただきます。3頁記載のURLよりWebにてお申込みください。

また、参加されます皆様の便宜をお図りするため、ご宿泊の手配につきましても当支店にてお取扱いさせていただきます。つきましては、下記のとおりご案内申し上げますので、期限迄にお申込みいただきますようよろしくお願い申し上げます。

株式会社日本旅行 岡山支店
支店長 蓑崎 功一

2 | サミットについて

- (1) 日時 10月29日(木) 13:30~17:45
- (2) 会場 倉敷アイビースクエア (倉敷市本町7-2)
- (3) 参加費 無料 (但し、10月30日の行政視察を除く)

項目	プログラム/内容	時間
受付		12:45~
開会式		13:30~14:00
基調講演	講師：東京大学大学院情報学環 特任教授 日本災害情報学会会長 片田 敏孝 氏 演題：『中核市が頻発・激甚化する災害から「生き抜く」ために』	14:05~15:05
パネルディスカッション (※)	第1会場 『災害から「生き抜く」ためのまちづくり』 【コーディネーター】 岡山大学地域総合研究センター長 三村 聡 氏 【モデレーター】 東京大学大学院情報学環特任教授・日本災害情報学会会長 片田 敏孝氏 【パネリスト】 中核市市長4名程度 第2会場 『コロナに「打ち勝つ」観光文化のまちづくり』 【コーディネーター】 東洋大学大学院国際観光学部客員教授 丁野 朗 氏 【モデレーター】 公益財団法人大原美術館理事長 大原 あかね 氏 【パネリスト】 中核市市長4名程度	15:20~16:40
全体会議・閉会式		16:55~17:45

※パネルディスカッションはテーマ毎に2会場に分けて実施します。お申込みの際には、聴講を希望されるテーマをお選びください。

- (4) 行政視察 (オプション (有料) になります。詳細は【5 行政視察について】をご参照ください。)

コース	時間
■ 10月30日 (金)	
① 【災害から「生き抜く」ための強いまちづくり 真備地区~倉敷美観地区コース】	8:40~14:10
② 【コロナに「打ち勝つ」観光文化のまちづくり 倉敷美観地区コース】	8:30~12:50

1 | はじめに

この度は「中核市サミット2020 in 倉敷」が開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

サミット、行政視察のご参加のお申込みにつきましては、主催者からの委託を受け、株式会社日本旅行岡山支店にて受付させていただきます。3頁記載のURLよりWebにてお申込みください。

また、参加されます皆様の便宜をお図りするため、ご宿泊の手配につきましても当支店にてお取扱いさせていただきます。つきましては、下記のとおりご案内申し上げますので、期限迄にお申込みいただきますようよろしくお願い申し上げます。

株式会社日本旅行 岡山支店
支店長 蓑崎 功一

2 | サミットについて

- (1) 日時 10月29日(木) 13:30~17:45
- (2) 会場 倉敷アイビースクエア (倉敷市本町7-2)
- (3) 参加費 無料 (但し、10月30日の行政視察を除く)

項目	プログラム/内容	時間
受付		12:45~
開会式		13:30~14:00
基調講演	講師：東京大学大学院情報学環 特任教授 日本災害情報学会会長 片田 敏孝 氏 演題：『中核市が頻発・激甚化する災害から「生き抜く」ために』	14:05~15:05
パネルディスカッション (※)	第1会場 『災害から「生き抜く」ためのまちづくり』 【コーディネーター】 岡山大学地域総合研究センター長 三村 聡 氏 【モデレーター】 東京大学大学院情報学環特任教授・日本災害情報学会会長 片田 敏孝氏 【パネリスト】 中核市市長4名程度 第2会場 『コロナに「打ち勝つ」観光文化のまちづくり』 【コーディネーター】 東洋大学大学院国際観光学部客員教授 丁野 朗 氏 【モデレーター】 公益財団法人大原美術館理事長 大原 あかね 氏 【パネリスト】 中核市市長4名程度	15:20~16:40
全体会議・閉会式		16:55~17:45

※パネルディスカッションはテーマ毎に2会場に分けて実施します。お申込みの際には、聴講を希望されるテーマをお選びください。

- (4) 行政視察 (オプション (有料) になります。詳細は【5 行政視察について】をご参照ください。)

コース	時間
■ 10月30日 (金)	
① 【災害から「生き抜く」ための強いまちづくり 真備地区~倉敷美観地区コース】	8:40~14:10
② 【コロナに「打ち勝つ」観光文化のまちづくり 倉敷美観地区コース】	8:30~12:50

行政視察のご案内

- すべての視察箇所にて、職員・学芸員などが説明をします。
- 記号の紹介 徒歩…… バス（貸切）=====

1 災害から「生き抜く」ためのまちづくり 真備地区～倉敷美観地区コース

テーマ：災害からの復旧・復興、日本遺産推進、観光振興、まちづくりなど

日程	内容
10/30 (金)	倉敷市バス専用駐車場（8:40集合）=====河川の付替え工事・インフォメーションセンター＝ ＝仮設住宅（トレーラーハウス等）＝＝決壊箇所・復興防災公園予定地＝＝まきび公園＝ ＝真備支所・豪雨災害の碑【昼食・住民等による被災から現在までの説明】＝＝ ＝倉敷市バス専用駐車場※…倉敷美観地区 本町・東町通り視察（町家再生含む）（14:10解散）

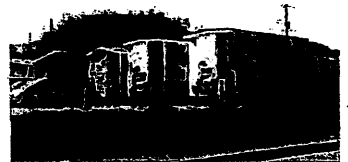
※倉敷美観地区の視察を希望されない場合は、倉敷市バス専用駐車場で倉敷美観地区の視察参加者様が下車された後に、JR倉敷駅までお送りします。（到着予定時間 13:10）

参加費 7,500円【昼食付】

コースポイント

■真備町被災地視察（復興の取組等）

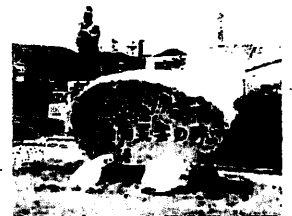
平成30年7月豪雨による甚大な被害から、現在、全国の皆さまからの多くの御支援と住民のたゆまぬ努力により、復興に向けた取組を進めています。被災当時の状況や、復旧・復興を含めた経験を踏まえた取組について説明します。トレーラーハウスを活用した仮設住宅、河川の付替え工事、大規模決壊箇所の視察を予定しています。



仮設住宅（トレーラーハウス）

■真備支所・豪雨災害の碑【昼食・住民等による被災から現在までの説明】

災害の記憶を後世に伝え、災害に強いまちづくりへの思いを刻んだ「平成30年7月豪雨災害の碑」を設置している真備支所。被災から営業災害を果たした地元ファンの多い「旬菜魚庵 福よし」の料理を召し上がっていただくとともに、地元商工会会長による被災から現在までの説明を行います。



平成30年7月豪雨災害の碑

■倉敷美観地区 本町・東町通り

都市景観の向上、地域活性化等を目的とした「電線類地中化」や、官民連携により複数の賑わい拠点を創出した「町家リノベーション」の取組を進め、地域の魅力の向上と誘客の拡大につなげています。

2 コロナに「打ち勝つ」観光文化のまちづくり 倉敷美観地区コース

テーマ：まちづくり（電線類地中化、町家リノベーション）、観光振興、日本遺産推進など

日程	内容【昼食付】
10/30 (金)	倉敷物語館前（8:30集合）……倉敷物語館……大原美術館…… ……本町・東町通り視察（町家再生含む）……語り座大原本邸…… ……旅館鶴形【昼食】（12:50解散）

参加費 6,500円【昼食付】

コースポイント

■大原美術館

昭和5年に倉敷の実業家大原孫三郎が設立した日本初の西洋近代美術館。大原氏が大切にしたい「社会貢献」の理念のもと、様々な教育普及活動を行っており、本市の地域活性化の取組に深い関わりがあります。



大原美術館

■倉敷物語館

古民家を再生した倉敷美観地区の観光・文化交流拠点です。

※本施設にて、倉敷市における「文化財の保護と活用」や「日本遺産推進の取組」等を説明します。



電線類を地中化した本町通り

■本町・東町通り

都市景観の向上、地域活性化等を目的とした「電線類地中化」や、官民連携により複数の賑わい拠点を創出した「町家リノベーション」の取組を進め、地域の魅力の向上と誘客の拡大につなげています。



ご予約確認書

お問合せ番号：003936-0798644

郡山市議会
今村 剛司様

株式会社 日本旅行 岡山支店
〒700-0023 岡山市北区駅前町2-1-7 JR西日
本岡山支社ビル1階

TEL：086-225-2040 / FAX：
086-223-2259

E-mail：
[REDACTED]

担当者：
[REDACTED]

●
大会名
中核市サミット2020in倉敷 (市議会議員関係者様)

ご利用金額

お支払い額

残額

¥28,000

¥28,000

¥0

受付番号

利用者/内容備考

ご利用額

お支払い額

01:参加
e105

諸越 裕(モロコシ ヒロシ)[議員]

¥0

2020/8/17

パネルディスカッション(聴講無料) >> コロナに「打ち勝つ」観光文化のまちづくり

01:参加
e108

今村 剛司(イマムラ タケシ)[議員]

¥0

2020/8/17

パネルディスカッション(聴講無料) >> 災害から「生き抜く」ためのまちづくり

01:参加
e110

大木 進(オオキ ススム)[議員]

¥0

2020/8/17

パネルディスカッション(聴講無料) >> コロナに「打ち勝つ」観光文化のまちづくり

01:参加
e111

名木 敬一(ナギ ケイイチ)[議員]

¥0

2020/8/17

パネルディスカッション(聴講無料) >> 災害から「生き抜く」ためのまちづくり

04:行政視察
s35

今村 剛司(イマムラ タケシ)

¥7,500

2020/8/17	①災害から「生き抜く」ためのまちづくり 区コース 2020/10/30<¥7,500>	真備地区～倉敷美観地	
04:行政視察 s35	名木 敬一(ナギ ケイイチ)		¥7,500
2020/8/17	①災害から「生き抜く」ためのまちづくり 区コース 2020/10/30<¥7,500>	真備地区～倉敷美観地	
04:行政視察 s36	諸越 裕(モロコシ ヒロシ)		¥6,500
2020/8/17	②コロナに「打ち勝つ」観光のまちづくり 2020/10/30<¥6,500>	倉敷美観地区コース	
04:行政視察 s36	大木 進(オオキ ススム)		¥6,500
2020/8/17	②コロナに「打ち勝つ」観光のまちづくり 2020/10/30<¥6,500>	倉敷美観地区コース	
07:入金 488769	入金日:2020/09/24 決済方法:銀行振込		¥28,000

支払締切日：2020年9月25日（月）17：30

支出明細書兼支出証明書

支出番号 18

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	② 研修費	3 広報費	4 広聴費		振込料
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）				※該当する支出費目を記入
支出目的 (支出事由)	中核市サミット2020in倉敷 負担金振込料				
内 容	① 災害から「生き抜く」ためのまちづくり（真備・倉敷美観地区）				
	② コロナに「打ち勝つ」観光文化のまちづくり（倉敷美観地区）				
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額		
令和2年 9月 24日	株式会社 東邦銀行		880円		
上記のとおり支出します。					
議員氏名 共 通 ㊦					

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。
 ※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

該当するものに○(または✓)を表示します

振込金受取書(兼手数料受取書)

預金払戻請求書・預金口座振替による振込受付書(兼手数料受取書)

指定日
令和2年9月24日

お振込先

金融機関名(漢字)を左づめでご記入ください(東邦銀行の場合記入不要)
みずほ

支店名(漢字)を左づめでご記入ください
銀行 二十四号

出張店所

東邦銀行あての振込
 東邦銀行

銀行以外の場合は○をお付けください。
信金 信組 農協 その他

ご記入にあたってのお願い

- 太枠の中を黒ボールペンで強くご記入ください。
- 金額の先頭に¥マークをご記入ください。
- 濁点(・)、半濁点(゜)も一マスを使用してご記入ください。

お預金種目

該当項目に○をお付けください
1.当座 2.普通 4.貯蓄 9.その他

左づめでご記入ください
口座番号
6956805

金額

十億 億 千万 百万 十万 万 千 百 十 円
28000

受取カタカナ

カフニキカイシヤニホンリョウカイ

消費税込手数料 円
880

人

おなまえ(漢字)
株式会社 日本旅行 様

依頼人

カタクナイ
イマハラタケシ

- 振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のために振込が遅延することがあります。
- やむを得ない事由による通信機器、回線の障害等によって振込が遅延することもありますので、ご了承ください。

おなまえ(漢字)
0798644
那山市議会 緑風会 今村 周司 様

人

おところ
福島県那山市朝日1-23-7 西館 LF
日中ご連絡可能なお電話番号
024-924-2921





株式会社 東邦銀行

出2納
2.9.24
東邦銀行
那山市役所支店

収入印紙
振込金受取書の場合、
振込金+手数料5万円
以上の場合200円貼付
振込金受付書の場合不要
3. 当店の本人口座への入金
金は200円貼付

当行をご利用いただきましてありがとうございます

支出調書

会派名	緑風会	代表者	経理責任者	起案者		
				大木	進 	
区分	事由	費目・金額			小計	
1 調査研究費	中核市サミット2020in倉敷 旅費	交通費		旅費	332,880	332,880
		自動車燃料費		資料作成費		
		調査委託費		振込料		
2 研修費		会場費		講師謝金		0
		出席者負担金・会費		交通費		
		旅費		自動車燃料費		
		資料作成費		食糧費		
		振込料				
3 広報費		会場費		交通費		0
		自動車燃料費		資料作成費		
		広報誌(紙)		報告書等印刷費		
		送料(折込料含む)		ウェブページ掲載代		
		茶菓子代		振込料		
4 広聴費		会場費		交通費		0
		自動車燃料費		資料作成費		
		茶菓子代		振込料		
5 要請・陳情活動費		交通費		旅費		0
		自動車燃料費		資料作成費		
		振込料				
6 会議費		会場費		交通費		0
		自動車燃料費		資料作成費		
		振込料				
7 資料作成費		印刷製本費		翻訳料		0
		筆耕料		振込料		
8 資料購入費		法規追録代		参考図書代		0
		新聞(日刊紙)購読料		雑誌等購読料		
		有料データベース等利用料		振込料		
9 人件費		賃金		社会保険料等		0
		振込料				
10 事務所費		備品購入費		事務機器等リース代		0
		消耗品等事務費		印刷代		
		振込料		配送手数料		
11 通信運搬・自動車燃料費		電話料等(按分)		郵便料等		0
		自動車燃料費(按分)		その他		
支出年月日	令和2年10月21日	現金出納簿 支出番号		合計		332,880

出張（調査等）申請書兼旅費請求書

支出番号



会 派 会 長 様

申請代表者氏名 大 木 進

下記の用務により出張（調査等）したいので申請するとともに、旅費を請求いたします。

記

請求金額	332,880円 (1人あたり 83,220円) ※別紙、旅費計算書のとおり	
目的	中核市サミット 2020in 倉敷・行政調査	
用務先	倉敷アイビースクエア	
内容	10/29「パネルディスカッション」 10/30「行政視察」 ・災害から「生き抜く」ためのまちづくり ・コロナに「打ち勝つ」観光文化のまちづくり	
期間	令和2年10月 29日 ~ 令和2年 10月 30日 (1泊 2日)	
行程	別紙のとおり	
出張(調査等)者氏名	・今村 剛司	・
	・諸越 裕	・
	・大木 進	・
	・名木 敬一	・
	・	・
特記事項		

上記のとおり出張（調査等）を許可します。

会派会長	経理責任者		受理日	令和2年10月21日
			許可日	令和2年10月21日
			支出日	令和2年10月21日

上記金額を受領しました。

令和2年10月21日

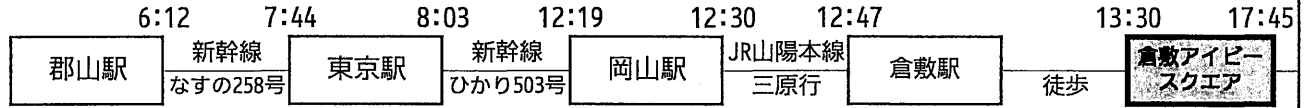
申請代表者氏名 大 木 進



令和2年度 行政調査行程表

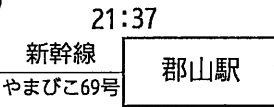
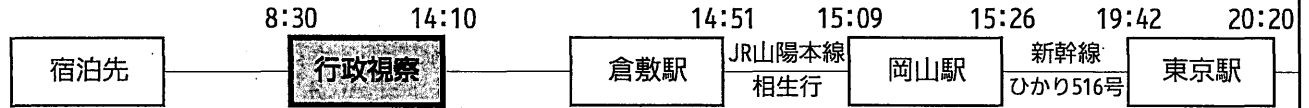
1 行程

□ 1日目：10月29日（木）



宿泊先

□ 2日目：10月30日（金）



2 人員 4名

今村 剛司 議員
 諸越 裕 議員
 大木 進 議員
 名木 敬一 議員

3 視察内容

1 令和2年10月29日（木）～30日（金）
 【中核市市長会・倉敷市】
 ○中核市サミット2020in倉敷
 ※詳細は別紙案内のとおり

4 事務局連絡先・会場

○【事務局】中核市市長会倉敷市サミット開催事務局
 岡山県倉敷市西中新田640
 Tel.086-426-3055
 【会場】倉敷アイビースクエア
 岡山県倉敷市本町7-2

5 その他

10/29 パネルディスカッション
 ・災害から「生き抜く」ためのまちづくり
 参加議員 今村、名木
 ・コロナに「打ち勝つ」観光文化のまちづくり
 参加議員 諸越、大木
 10/30 行政視察
 ・災害から「生き抜く」ためのまちづくり
 参加議員 今村、名木
 ・コロナに「打ち勝つ」観光文化のまちづくり
 参加議員 諸越、大木

行政調査旅費計算書

会派名 : 緑風会
 参加議員 : 今村 剛司、諸越 裕、大木 進、名木 敬一
 日程 : 令和2年10月29日(木)～30日(金)
 行先 : 倉敷アイビースクエア(岡山県倉敷市本町7-2)

10月29日	郡山駅	新幹線 226.7	東京駅	新幹線 732.9	岡山駅	JR山陽本線 15.9	倉敷駅											
運賃	12,540																12,540	
急行料金	6,890	12,530														19,420		
席種	グリーン	グリーン														0		
実費																	0	

10月30日	倉敷駅	JR山陽本線 15.9	岡山駅	新幹線 732.9	東京駅	新幹線 226.7	郡山駅											
運賃	12,540																12,540	
急行料金			12,530														6,890	19,420
席種			グリーン														グリーン	0
実費																	0	

交通費	63,920		63,920
日当	3,000 ×	1日 =	3,000
	1,500 ×	1日 =	1,500 ※
宿泊費	14,800 ×	1泊 =	14,800
合計			83,220 円 × 4名 = 332,880 円

※2日目、行政視察負担金に昼食が含まれるため半日当。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



日本連合
中核市

中核市60市が一堂に会する

中核市サミット

地域を創り、地域に生きる

～中核市が育む日本の力～

開催スケジュール

13:30～
14:00

開会式

14:05～
15:05

基調講演

演題「頻発・激甚化する災害から
「生き抜く」ために」

15:20～
16:40

パネルディスカッション

第1会場

「災害から「生き抜く」ためのまちづくり」

第2会場

「コロナに「打ち勝つ」観光文化のまちづくり」

16:55～
17:45

全体会議・閉会式

2020 **10.29** [木]

時間 13:30～17:45 (開場12:45)

会場 倉敷アイビースクエア
岡山県倉敷市本町7-2

主催：中核市市長会・倉敷市

後援：総務省・岡山県・全国市長会・全国市議会議員会・中核市議会議員会

お問い合わせ

中核市市長会倉敷市サミット開催事務局
(倉敷市企画経営室内)

TEL | 086-426-3055 [FAX] 086-426-5131

E-mail | plnpln@city.kurashiki.okayama.jp

Web | <https://www.city.kurashiki.okayama.jp/sammit/00/>

中核市サミット2020in倉敷

地域を創り、地域に生きる ～中核市が育む 日本のカ～

中核市は、平成8年に12市が移行して以来、社会情勢に対応しながら、地域の中核都市として地方分権の推進と地域の発展に大きな役割を果たしてきました。制度発足から20年余りを経た現在では60市まで拡大し、全市の人口は約2,233万人となるなど、我が国における存在と責任は高まっています。

本格的な人口減少と高齢化を迎える我が国では、自治体が行政上の諸課題に的確に対応し、住民の暮らしと地域経済を守るための取組を進めていく必要があります。中核市は、各々の地域の中核都市として将来にわたって活力ある社会を維持していく役割が求められています。

一方で、近年、頻発・激甚化する自然災害によって、住民の尊い命や財産を失う等、各地で甚大な被害が生じています。加えて、新型コロナウイルスといった新たな感染症の脅威を受ける中、地方創生の中核となる中核市は、持続可能なまちづくりの基盤となる防災・減災に向けた取組、地域活性化のための力強いまちづくりを早急に進めていかなければなりません。

中核市サミット2020in倉敷では、災害から「生き抜く」ためのまちづくり、そして、コロナに「打ち勝つ」観光文化のまちづくりについて、中核市の市長が一堂に会して議論を深め、その方策を全国に発信し、真の地方創生につなげてまいります。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国各地で様々なコンベンションの中止や延期を余儀なくされるなど、国内外における交流は停滞し、地域経済は大きな打撃を受けています。本サミット開催においては、コロナ禍を「生き抜き、打ち勝つ」一つのモデルケースとして、「新しい生活様式」を踏まえた感染拡大防止と交流促進との両立を図る新たなコンベンションの形を示してまいります。



講師
片田 敏孝氏
東京大学大学院情報学環特任教授
日本災害情報学会会長

演題
頻発・激甚化する
災害から「生き抜く」ために



専門は災害情報学・災害社会学。群馬大学名誉教授も務める。災害への危機管理対応、災害情報伝達、防災教育、避難誘導策のあり方等の研究とともに、地域での防災活動を全国各地で展開。2度の内閣総理大臣表彰のほか、内閣府中央防災会議をはじめ、多数の委員会、審議会に携わり、倉敷市災害に強い地域をつくる検討会委員長を務める。

パネルディスカッション <約80分>

第1会場 テーマ **災害から「生き抜く」ためのまちづくり**



コーディネーター
三村 聡氏
岡山大学
地域総合研究センター長



コメンテーター
片田 敏孝氏
東京大学大学院情報学環特任教授
日本災害情報学会会長

パネリスト 中核市市長4名程度

近年、全国各地で頻発・激甚化する自然災害により、住民の尊い命や財産を失う等、多くの中核市においても甚大な被害が生じており、被災地では、現在、一日も早い復旧・復興に向けて邁進しているところです。

また、今後も地球温暖化による気候変動に伴う台風や集中豪雨の増加、さらには南海トラフ地震や直下型地震などの発生が危惧されているなか、全国各地で、地域の実情に応じて、将来にわたって活力ある社会を維持していく上での基盤となる防災・減災、国土強靱化に向けた取組が進められています。

加えて、新型コロナウイルス感染症の感染防止を踏まえた防災対策など、新たな課題への対応についても進めていかなければなりません。

本パネルディスカッションでは、各中核市でのこうした取組を紹介するとともに、災害から「生き抜く」ための方策等について議論します。

第2会場 テーマ **コロナに「打ち勝つ」観光文化のまちづくり**



コーディネーター
丁野 朗氏
東洋大学大学院国際観光学部
客員教授



コメンテーター
大原 あかね氏
公益財団法人大原美術館
理事長

パネリスト 中核市市長4名程度

これまで、全国の各地域では、地方創生の実現に向けて、郷土への愛着と誇りの醸成につながる町並み保存、文化財の総合的な活用、地場産品の振興などといった地域資源のブランド化や観光客の拡大につながる様々な取組を進めてきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、現在、国内外における交流は停滞し、地域経済は大きな打撃を受けています。

本パネルディスカッションでは、各中核市での地域の個性と魅力の創出に向けた取組を紹介するとともに、「新しい生活様式」を踏まえたまちの魅力発信や交流拡大など地域経済の回復につなげるコロナに「打ち勝つ」ための方策等について議論します。

申込締切
10/8
【土曜日】
必着

入場無料
要マスク着用
事前申込必要
ただし、座席に限りがございますので、先着順とさせていただきます。

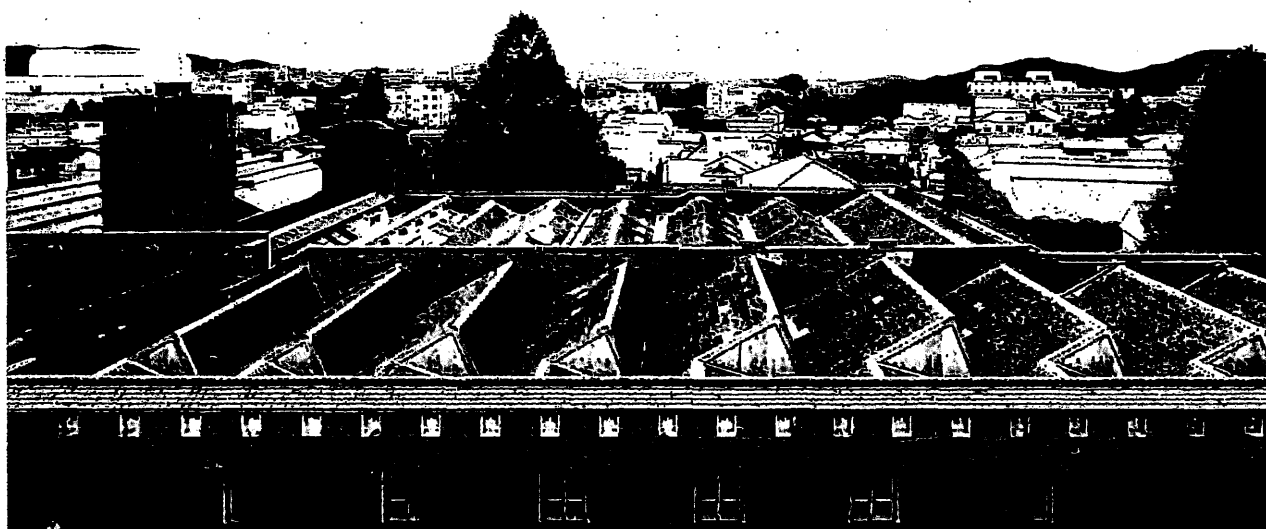
聴講をご希望される方はホームページからのお申し込みか、下記の必要事項を記入の上、件名を「中核市サミット申し込み」とし、メール・FAXでお申し込みください。
① 郵便番号 ② 住所 ③ 氏名(ふりがな) ④ 電話番号 ⑤ 聴講を希望するパネルディスカッションのテーマ ⑥ 手話通訳の希望者はその旨を記入してください。◎当日は、質問・意見等の発言はできません。
中核市市長会倉敷市サミット開催事務局(倉敷市企画経営室内)
[Web] <https://www.city.kurashiki.okayama.jp/kikaku/summit2020>
[E-mail] plnpol@city.kurashiki.okayama.jp
[FAX] 086-426-5131



中核市サミット2020 in 倉敷

地域を創り、地域に生きる ～中核市が育む日本の力～

お申込のご案内



倉敷アイビースクエア（開催会場）

年間約330万人の観光客が訪れる倉敷美観地区。その中に建つ倉敷アイビースクエアは倉敷紡績所（現クラブウ）の旧工場を、ホテルや記念館などに改装した複合交流施設です。国の近代化産業遺産に指定され、2016年には伊勢志摩サミット関係閣僚会合「G7倉敷教育大臣会合」の主会場となりました。また2017年には、倉敷市の繊維産業とまちの発展を綴る日本遺産ストーリー「一輪の綿花から始まる倉敷物語」の構成文化財となっています。

【主催】 中核市市長会・倉敷市

【後援】 総務省・岡山県・全国市長会・全国市議会議長会・中核市議会議長会

【旅行企画・実施】 株式会社日本旅行 岡山支店

岡山市北区駅前町2-1-7 JR西日本岡山支社ビル1階

※ 参加の集約は開催事務局の依頼により株式会社日本旅行岡山支店が代行受付いたします。
参加の集約については、旅行契約には、該当いたしません。

1 | はじめに

この度は「中核市サミット2020 in 倉敷」が開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

サミット、行政視察のご参加のお申込みにつきましては、主催者からの委託を受け、株式会社日本旅行岡山支店にて受付させていただきます。3頁記載のURLよりWebにてお申込みください。

また、参加されます皆様の便宜をお図りするため、ご宿泊の手配につきましても当支店にてお取扱いさせていただきます。つきましては、下記のとおりご案内申し上げますので、期限迄にお申込みいただきますようよろしくお願い申し上げます。

株式会社日本旅行 岡山支店
支店長 蓑崎 功一

2 | サミットについて

- (1) 日時 10月29日(木) 13:30~17:45
- (2) 会場 倉敷アイビースクエア (倉敷市本町7-2)
- (3) 参加費 無料 (但し、10月30日の行政視察を除く)

項目	プログラム/内容	時間
受付		12:45~
開会式		13:30~14:00
基調講演	講師：東京大学大学院情報学環 特任教授 日本災害情報学会会長 片田 敏孝 氏 演題：『中核市が頻発・激甚化する災害から「生き抜く」ために』	14:05~15:05
パネルディスカッション (※)	第1会場 『災害から「生き抜く」ためのまちづくり』 【コーディネーター】 岡山大学地域総合研究センター長 三村 聡 氏 【コメンテーター】 東京大学大学院情報学環特任教授・日本災害情報学会会長 片田 敏孝氏 【パネリスト】 中核市市長4名程度 第2会場 『コロナに「打ち勝つ」観光文化のまちづくり』 【コーディネーター】 東洋大学大学院国際観光学部客員教授 丁野 朗 氏 【コメンテーター】 公益財団法人大原美術館理事長 大原 あかね 氏 【パネリスト】 中核市市長4名程度	15:20~16:40
全体会議・閉会式		16:55~17:45

※パネルディスカッションはテーマ毎に2会場に分けて実施します。お申込みの際には、聴講を希望されるテーマをお選びください。

- (4) 行政視察 (オプション (有料) になります。詳細は【5 行政視察について】をご参照ください。)

コース	時間
■ 10月30日 (金)	
① 【災害から「生き抜く」ための強いまちづくり 真備地区~倉敷美観地区コース】	8:40~14:10
② 【コロナに「打ち勝つ」観光文化のまちづくり 倉敷美観地区コース】	8:30~12:50

行政視察のご案内

- すべての視察箇所にて、職員・学芸員などが説明をします。
- 記号の紹介 徒歩…… バス（貸切）=====

1

災害から「生き抜く」ためのまちづくり 真備地区～倉敷美観地区コース

テーマ：災害からの復旧・復興、日本遺産推進、観光振興、まちづくりなど

日程	内容
10/30 (金)	倉敷市バス専用駐車場（8:40集合）=====河川の付替え工事・インフォメーションセンター＝ ＝仮設住宅（トレーラーハウス等）＝＝決壊箇所・復興防災公園予定地＝＝まきび公園＝ ＝真備支所・豪雨災害の碑【昼食・住民等による被災から現在までの説明】＝＝ ＝倉敷市バス専用駐車場※…倉敷美観地区 本町・東町通り視察（町家再生含む）（14:10解散）

※倉敷美観地区の視察を希望されない場合は、倉敷市バス専用駐車場で倉敷美観地区の視察参加者様が下車された後に、JR倉敷駅までお送りします。（到着予定時間 13:10）

参加費 7,500円【昼食付】

コースポイント

■真備町被災地視察（復興の取組等）

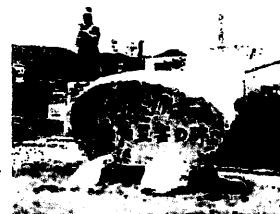
平成30年7月豪雨による甚大な被害から、現在、全国の皆さまからの多くの御支援と住民のたゆまぬ努力により、復興に向けた取組を進めています。被災当時の状況や、復旧・復興を含めた経験を踏まえた取組について説明します。トレーラーハウスを活用した仮設住宅、河川の付替え工事、大規模決壊箇所の視察を予定しています。



仮設住宅（トレーラーハウス）

■真備支所・豪雨災害の碑【昼食・住民等による被災から現在までの説明】

災害の記憶を後世に伝え、災害に強いまちづくりへの思いを刻んだ「平成30年7月豪雨災害の碑」を設置している真備支所。被災から営業災害を果たした地元ファンの多い「旬菜魚庵 福よし」の料理を召し上がっていただくとともに、地元商工会会長による被災から現在までの説明を行います。



平成30年7月豪雨災害の碑

■倉敷美観地区 本町・東町通り

都市景観の向上、地域活性化等を目的とした「電線類地中化」や、官民連携により複数の賑わい拠点を創出した「町家リノベーション」の取組を進め、地域の魅力の向上と誘客の拡大につなげています。

2

コロナに「打ち勝つ」観光文化のまちづくり 倉敷美観地区コース

テーマ：まちづくり（電線類地中化、町家リノベーション）、観光振興、日本遺産推進など

日程	内容【昼食付】
10/30 (金)	倉敷物語館前（8:30集合）……倉敷物語館……大原美術館…… ……本町・東町通り視察（町家再生含む）……語らい座大原本邸…… ……旅館鶴形【昼食】（12:50解散）

参加費 6,500円【昼食付】

コースポイント

■大原美術館

昭和5年に倉敷の実業家大原孫三郎が設立した日本初の西洋近代美術館。大原氏が大切にしたい「社会貢献」の理念のもと、様々な教育普及活動を行っており、本市の地域活性化の取組みに深くかかわりががあります。



大原美術館

■倉敷物語館

古民家を再生した倉敷美観地区の観光・文化交流拠点です。

※本施設にて、倉敷市における「文化財の保護と活用」や「日本遺産推進の取組」等を説明します。



電線類を地中化した本町通り

■本町・東町通り

都市景観の向上、地域活性化等を目的とした「電線類地中化」や、官民連携により複数の賑わい拠点を創出した「町家リノベーション」の取組を進め、地域の魅力の向上と誘客の拡大につなげています。





出張（調査等）報告書兼旅費精算書

支出番号 24

会派会長様

下記のとおり出張（調査等）したので報告するとともに、受領した旅費を精算（返納）いたします。



出張（調査等）議員名

・今村 剛司		・	印
・諸越 裕		・	印
・大木 進		・	印
・名木 敬一		・	印
・	印	・	印
・	印	・	印

記

期 間	令和2年 10月 29日 ~ 令和2年 10月 30日（1泊2日）					
目 的	行政調査					
用 務 先	中核市サミット in 倉敷(倉敷アイビースクエア)					
行 程	別紙行程表のとおり					
内容及び成果	別紙のとおり					
旅 費 精 算	受領額	332,880 円	精算額	332,880 円	返納額	0 円

上記のとおり出張（調査等）の内容を確認するとともに、精算を受けました。

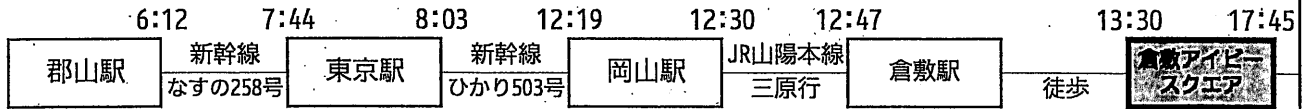
会派会長	経理責任者		受 理 日	令和2年11月 2日
			確 認 日	令和2年11月 2日
			精 算 日	令和2年11月 2日

※添付書類：行程表、調査等先説明資料、要請・陳情書（写）、調査等先の名刺、写真、成果報告書他

令和2年度 行政調査行程表

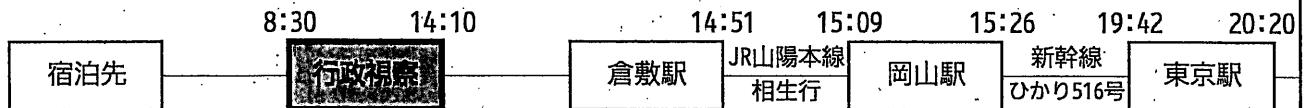
1 行程

□ 1日目：10月29日（木）



宿泊先

□ 2日目：10月30日（金）



21:37 新幹線 やまびこ69号 郡山駅

2 人員 4名

今村 剛司 議員
 諸越 裕 議員
 大木 進 議員
 名木 敬一 議員

3 視察内容

1 令和2年10月29日（木）～30日（金）
 【中核市市長会・倉敷市】
 ○中核市サミット2020in倉敷
 ※詳細は別紙案内のとおり

4 事務局連絡先・会場

○【事務局】中核市市長会倉敷市サミット開催事務局
 岡山県倉敷市西中新田640
 TEL086-426-3055
 【会場】倉敷アイビースクエア
 岡山県倉敷市本町7-2

5 その他

10/29 パネルディスカッション
 ・災害から「生き抜く」ためのまちづくり
 参加議員 今村、名木
 ・コロナに「打ち勝つ」観光文化のまちづくり
 参加議員 諸越、大木
 10/30 行政視察
 ・災害から「生き抜く」ためのまちづくり
 参加議員 今村、名木
 ・コロナに「打ち勝つ」観光文化のまちづくり
 参加議員 諸越、大木

行政調査旅費計算書

会派名 : 緑風会
 参加議員 : 今村 剛司、諸越 裕、大木 進、名木 敬一
 日程 : 令和2年10月29日(木) ~ 30日(金)
 行先 : 倉敷アイビースクエア (岡山県倉敷市本町7-2)

10月29日										
郡山駅	新幹線 226.7	東京駅	新幹線 732.9	岡山駅	JR山陽本線 15.9	倉敷駅				
運賃	12,540									12,540
急行料金	6,890	12,530								19,420
席種	グリーン	グリーン								0
実費										0

10月30日										
倉敷駅	JR山陽本線 15.9	岡山駅	新幹線 732.9	東京駅	新幹線 226.7	郡山駅				
運賃	12,540									12,540
急行料金		12,530	6,890							19,420
席種		グリーン	グリーン							0
実費										0

交通費	63,920		63,920
日当	3,000 ×	1日 =	3,000
	1,500 ×	1日 =	1,500 ※
宿泊費	14,800 ×	1泊 =	14,800
合計		83,220 円	× 4名 = 332,880 円

※2日目、行政視察負担金に昼食が含まれるため半日当。



一輪の綿花から始まる倉敷物語
 ~和と洋が織りなす繊維のまち~



倉敷市建設局

局長 小松 賢 治

〒710-8565

岡山県倉敷市西中新田640番地

TEL (086) 426-3450

E-mail: [REDACTED]



倉敷市議会議員

守屋 弘 志

携 F T
 帯 A E
 X L

行政調査報告書

期 日：令和2年10月29日（木）～30日（金）

調査地：岡山県倉敷市

「 中核市サミット2020 in 倉敷 」

緑 風 会

「中核市サミット2020 in 倉敷」調査概要

参加者；今村剛司、諸越裕、大木進、名木敬一

(10月29日)

I. 基調講演

演題：頻発・激甚化する災害から「生き抜く」ために

講師：片田敏孝様

東京大学大学院情報学環特任教授・日本災害情報学会会長

II. パネルディスカッション

【第1会場】(今村剛司・名木敬一)

災害から「生き抜く」ためのまちづくり

- 近年、全国各地で頻発・激甚化する自然災害により、住民の尊い命や財産を失う等、多くの中核市においても甚大な被害が生じています。

今後も、地球温暖化による気候変動に伴う、台風や集中豪雨の増加、さらには南海トラフ地震や直下型地震などの発生が危惧されているなか、全国各地で、地域の実情に応じて、将来にわたって活力ある社会を維持していく上での基盤となる防災・減災、国土強靱化に向けた取組が進められています。

加えて、新型コロナウイルス感染症の感染防止を踏まえた防災対策など新たな課題への対応についても進めていかなければなりません。

そのような状況下において本パネルディスカッションでは福島市・いわき市・長野市・呉市・倉敷市の5市長をパネリストに迎え、令和元年東日本台風、平成30年7月豪雨からの復旧・復興の取組について紹介すると同時に、災害から「生き抜く」ための方策等についての議論を行いました。



本市においても昨年の東日本台風では甚大な影響を受け、現在も復旧・復興途上ではありますが、同じような状況下にある5市の取り組みの中でも下記の点については本市でも導入のメリットがあるのではないかと考えます。

①リバースモーゲージ型融資による住み慣れた場所での住宅再建(倉敷市)

年齢により通常の融資を受けることが困難な、60歳以上の被災者を対象とした自宅再建の支援。(自宅と土地を担保とする)

②今後の災害に備えた避難情報等の伝達方法の見直し(呉市)

現在のWEBサイト、SNS等を使った情報伝達手段に加え、高齢者やスマートホンを持たない方への情報伝達手段として希望する自治会(町内会)へファックスによる地域への避難情報の伝達、また、避難情報等を事前に登録している固定電話へ音声で案内。

③LINEを活用した被害状況の共有(倉敷市)

行政だけで大雨時の被災状況をリアルタイムに把握することは困難なため、大雨時の地域の状況をLINEを活用し、地域全体(市民間)で情報共有を実施。

本市も昨年の東日本台風(台風19号)からの復旧・復興途上ではありますが、万一に備えた更なる対策を日頃より検討しておくことが重要ではないかと思いました。

【第2会場】(諸越 裕・大木 進)

コロナに「打ち勝つ観光文化のまちづくり」

和と洋が織りなす繊維のまち倉敷、400年前まで一面の海だったその広大な浅海は、江戸時代以降、本格的に行われた干拓により陸地へと姿を変えた。干拓地には塩分が残り米作りには向かず、塩に強い綿やイ草が栽培されたことが現代につながる繊維産業の礎となる。寛永19年(1642)倉敷は幕府の直轄地、いわゆる「天領」となり、周辺の直轄領を支配する政治・経済の中心地に。倉敷川の周辺には商人が集まり、綿などを扱う問屋や仲買人でにぎわい、明治時代、英国式の最新の機械と工場施設を備えた倉敷紡績所(現クラブウ)が倉敷代官所跡に創設され、国内有数の紡績会社へと成長する中で町は大きく発展し、倉敷川周辺に数多くの西洋建築が建てられた。これらは伝統的な街並みにアクセントを加え、まちの魅力を一層高めている。現在、倉敷は年間出荷額日本一の「繊維のまち」となり、和と洋が織りなす倉敷の歴史文化は訪れる人々を魅了している。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により倉敷観光事業は「新しい生活様式」が求められる中、感染予防策を図りながら倉敷市の観光関連事業者の事業継続支援策[ぼっけえ お得な「倉敷みらい旅」]を実施するとともに、「ふんばる補助金」により中小企業・小規模事業者を。また、「あんしん補助金」により宿泊事業者を支援し、「安全・安心水準の高さ」で選んでいただけの観光地づくりを推進している。

○ぼっけえ お得な「倉敷みらい旅」

販売価格の40%以上の付加価値[市内観光関連事業者と連携]がついた前売り宿泊プランを販売してもらい、販売価格の40%を補助することで事業継続を支援。

<補助額> 1 宿泊施設上限200万円

○倉敷市ふんばる事業者応援事業費補助金

感染防止との両立を図り、事業者の強みを生かして取り組む新たなビジネス展開を応援。

テイクアウト・宅配等の「事態転換」

- 換気対策や3密対策等の「環境整備」
- マスク開発、オンライン化の「商品・サービス開発」
- 通信販売、オンライン面接の「販路開拓・人材確保」, <補助額> 上限20万円
- 安心して過ごせる観光地づくり推進事業費補助金
宿泊事業者が実施する「新しい生活様式」に対応した取り組み等を支援。
- サーモグラフィ、混雑状況の可視化等の「観光客受入環境の充実」
- 部屋食化、セルフチェックイン等の「感染防止に資するサービス開発」
- 掲示物制作やPR動画制作等の「衛生対策の見える化・PR」

以上が新型コロナウイルス感染症に「打ち勝つ」倉敷市の観光施策である。

本市においても観光地補助事業の取り組みが行われている。

今後の展開としては、コロナ禍を発想の転換期ととらえ、今まで以上に、通過型観光から滞在型観光へシフトし、本市全体で長期間滞在が可能なツアーを造成し、郡山市の価値を高めていく必要があると考える。

(10月30日)

I. 災害から「生き抜く」ためのまちづくり 真備地区～倉敷美観地区コース

(今村剛司・名木敬一)

■真備町被災地視察（復興の取組等）

平成30年7月豪雨による甚大な被害からの復興に向けた取組を視察。
総額約500億円をかけた国による高梁川・小田川の合流地点付け替え工事の現場および大規模決壊箇所を視察を行いました。

■真備支所にて地元商工会長による被災から現在までの状況を説明いただきました。

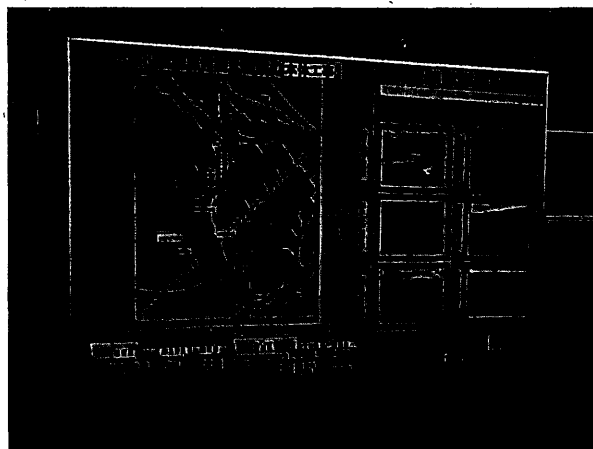
真備支所（真備商工会）では約4.5m浸水するなど、真備地区は甚大な被害を受けましたが、災害発生4日後には地区内会員全員への電話等による被害状況確認を完了。

また、グループ補助金の利用のためのグループ形成にあたっては、会員以外の全事業者にも声かけを行い、グループ参加にあたっての支援を行いました。

本市においても、昨年の東日本台風(台風19号)では甚大な影響を受けた事業者が数多くみられたが、商工会等未加入者への支援についても今後の課題として認識しておく必要があるのではないかと思います。



(小田川決壊箇所)



(小田川合流点付け替え工事現場事務所)

II. コロナに「打ち勝つ」観光文化のまちづくり 倉敷美観地区コース

(諸越 裕・大木 進)

■温暖な気候と高梁川のもたらす豊かな恵みに育まれた町、倉敷。古来より交通の要衝であった高梁川の支流・倉敷川は運河として利用され、やがて大原家をはじめとする倉敷商人の活躍で町は整備されていきました。往時をしのばせるのが「倉敷美観地区」「本町・東町」。白壁土蔵のなまこ壁に、幹を連ねる格子窓の町屋、柳並木が連なる倉敷川沿いなど情報豊かな日本の伝統的で美しい街並みが続いている。この周辺一帯は、1979年に国から「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されている。

○大原美術館

昭和5年に倉敷の実業家大原孫三郎が設立した日本初の西洋近代美術館。大原氏が大切にしたい「社会貢献」の理念のもと、様々な教育普及活動を行っており、倉敷市の地域活性化の取り組みに深くかかわっている。

○本町・東町通り

都市景観の向上、地域活性化等を目的とした「電線類地中化」や、官民連携により複数の賑わい拠点を創出した「町家リノベーション」の取り組みを進め、土蔵や町家を改装したカフェやギャラリー、雑貨屋、居酒屋などがオープンし、この界限に新たな魅力が加わり、地域の魅力の向上と誘客の拡大につなげている。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、観光客が激減している倉敷美観地区は、感染拡大に伴う対策として、観光地に消毒液を設置し、事業者に向けて観光関連のガイドライン遵守の呼びかけなど、新しい生活様式に基づく感染症対策を行い、少しでも安心・安全に観光いただけるよう努めている。主な取り組みとして、「まちづくり」や「倉敷市まちづくり基金」についての出前講座。倉敷市の明るい未来をイメージした「くらしき きらめきのみち」イルミネーション。観光客等を中心とした公共交通機関を利用した来訪者の移動利便性の向上を図るとともに、地域内の周遊を促進することを目的とした中心市街地におけるシェアサイクルの導入等である。

本市においても観光需要減少により、地域経済も大きな影響を受けている。商工団体等と連携しながら感染症防止対策の「見える化(可視化)」を進め、本市への観光客の皆さまへ「安全・安心」を提供し、誘客の拡大につなげる取り組みを推進すべきと考える。



(倉敷美観地区)



(大原美術館)

2020.10.29

中核市サミット 講演

頻発・激甚化する災害から 「生き抜く」ために

東京大学大学院情報学環 特任教授
日本災害情報学会 会長

片田 敏 孝

■荒ぶる気象災害

- ・令和2年7月豪雨：死者84名、行方不明者2名（消防庁 2020/10/01）
 - 平成最悪の豪雨「平成30年7月豪雨」、43年ぶりの命名台風「令和元年東日本台風」それらをも上回った豪雨
 - 今回も我々の“想定”に収まらなかった自然の猛威
 - ・予測できなかった線状降水帯
 - ・対応しきれなかったタイムライン → マルチシナリオに展開する積極的な姿勢が必要
- 専事態の展開シナリオが読み切れない。

■コロナ禍において求められる「分散避難」

- ・あらためて災害時の「避」について考える
 - ……「避難」とは難を避ける行動のことで。避難所に行くことだけが避難ではありません。（日本災害情報学会「避難に関する提言」2020年5月18日）
- ・コロナ禍で改めて知らされたこと「命の守り方」
 - ①やっぱり自らの安全は自らが守るしかない ……結局、①が最も大事。
 - ②自らの安全は周りの安全につながる
 - ③専門家にも行政にも完全に頼ることはできない
- コロナ禍においても、自然災害においても、自分自身がどう対応したかが問われる。

■内閣府中央防災会議

「平成30年7月豪雨を踏まえた水害・土砂災害からの避難のあり方について(報告)」

- ・西日本豪雨（平成30年7月豪雨）を教訓に、防災情報のあり方を議論
 - 住民主体の防災対策に方針転換
 - ・現状：突発的に発生する激甚な災害への行政主導のハード対策・ソフト対策には限界がある。住民主体の防災対策に転換していく必要がある。
 - ・目指す社会：住民が『自らの命は自らが守る』意識を持って自らの判断で避難行動をとり、行政は、それを全力で支援するという、住民主体の取組強化による防災意識の高い社会を構築する必要がある。
- 問われる「自分の命を守る」ことへの主体的な“姿勢”
- 防災は、主体的な姿勢をもつ住民に対する「行政サービス」から「行政サポート」へ

平成30年7月豪雨を踏まえた水害・土砂災害からの避難のあり方について(報告)

III. 今後の水害・土砂災害からの避難対策への提言 - 1. 避難に対する基本姿勢

現状

- 行政は防災対策の充実に全所努力を掲げているが、地球温暖化による気象現象の激化や行政負担が増していることにより、
- 行政によるハード対策の限界が顕著に現れている。
- 防災対策を今後更なる一歩進めるため、国民主体で共通理解のもと、**住民主体の防災対策に転換していく必要がある**

目指す社会

- これまでの行政主導から国民主体の防災対策に転換し、
- 国民が自らの命は自らが守る意識を持って自らの判断で避難行動をとり、行政は、それを全力で支援するという、
- 住民主体の取組強化による防災意識の高い社会を構築する必要がある

平成30年7月豪雨を踏まえた水害・土砂災害からの避難のあり方について(報告)

おわりに 国民の皆さんへ～大事な命が失われる前に～

- ・自然災害は決して他人ごとではありません。あなたも、あなたの身元への命に同じ問題です。
- ・激化した気象現象は今後更に悪化するでしょう。
- ・自然の脅威が問題になっているとき、行政は、国民の命を守るために全力を尽くします。
- ・避難するかはあなたに判断してもらいます。皆さんの命は皆さん自身で守ってください。
- ・あなた一人ではありません。避難の呼びかけ、人では超えが強い方の援助、地域の皆さんで助け合います。

命を守るために、皆さんの意識を高め、自分自身で命を守ることが大切です。

※ 行政サービスからサポートへの変更

【防災の実効性の鍵：個人として、地域として。】

- ・近年、豊富で充実した防災が提供されているが…
 - 科学的知見に基づく「豊富な情報」
 - 最新の科学技術によって提供される「充実した情報」
 - 避難しても困らないように「きっちり整備された避難路・避難所」
 } それらを伝えても
それでも避難が
行われてない現実
- ・利他的効用による「適切な避難」～家庭、コミュニティとの関係のなかで生じる「適切な避難」～
 - 釜石市での津波防災教育～そのとき起こる事態を想起させる～
 - ・「君が一人で逃げられないようであれば、お母さんはきっと君を迎えに来る」「僕、逃げるモン」
 - 平成 29 年 7 月九州北部豪雨の被災地
 - ・「家のある山の方を見ると（雨で）真っ白だった。『こりやまずい』と思った。うちの隣のおばあちゃんは一人暮らしで、誰かが助けに行かないとどうにもならないと思って助けに行った」

【課題：住民が抱く行政依存の姿勢】

- ・「行政からの情報があったら、避難する」……『情報』を提供するだけで、解決する問題か？
 - いかにかに内発的・主体的な動機付けを与えるか
 - ✓ 自ら避難したい・避難しなければと思える住民育成
 - ✓ この地域で危険な状況になったら、主体的な避難は当たり前という文化を醸成する
 - コミュニケーション・デザインが重要となる。

■これからの時代に求められる防災思想

- ・「災害対策基本法」に基づく行政主導の防災の功罪
 - ㊦ 年間数千人規模の犠牲者を百人前後にまで減少
 - ㊧ 過剰な行政依存「災害過保護」
 - 災害時の住民の対応行動：行政からの指示待ち、自らの判断で意思決定ができない（主体性の欠落）
- 日本の防災の向かうべき方向：自助、共助、公助が一体となって、自然災害に立ち向かう社会の構築

自然災害・災害想定を諦観せよ

相手は自然
如何なることもあり得る

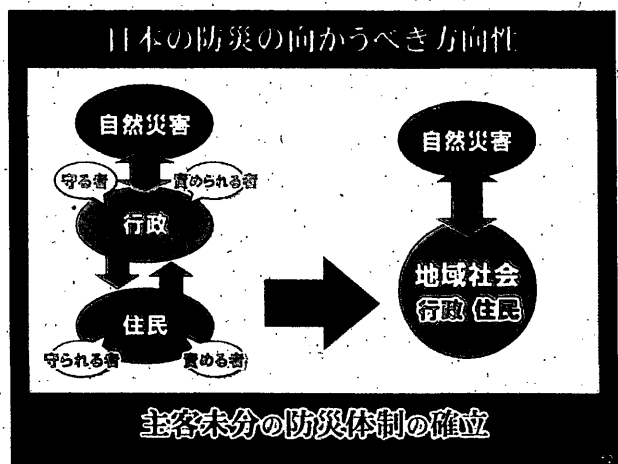
自然災害には
「諦観」
≠ 諦める

傷むことでも怯えることでもなく
自然に対する畏敬の念をもって
淡々と最善を尽くすのみ

（アンソニー・タウシグ）
「諦観の境地」

「ていーかん【諦観】」

日本質をほつきりと見きわめること
諦観、世の推移を諦観する
とあきらめ、悟って超然とすること。



原敬市

4.5人
要避難者

16
47万内

19路の本外を見と=602子?

世帯換計画の地域
警戒レベル
地域内への避難支援
健康加齢者への避難支援

片田敏孝

昭和35年 岐阜県生まれ

東京大学大学院情報学環 特任教授
日本災害情報学会 会長

平成2年：豊橋技術科学大学大学院博士課程修了
平成2年：東海総合研究所 研究員
平成3年：岐阜大学工学部土木工学科 助手
平成5年：名古屋商科大学商学部 専任講師
平成7年：群馬大学工学部建設工学科 講師
平成9年：群馬大学工学部建設工学科 助教授
平成12年4月～平成13年9月：京都大学防災研究所 客員助教授
平成13年4月～平成14年3月：米国ワシントン大学 客員研究員
平成17年：群馬大学工学部建設工学科 教授
※平成26年：群馬大学大学院理工学府に所属名変更
平成22年：群馬大学広域首都圏防災研究センター センター長
平成29年：東京大学大学院情報学環 特任教授
群馬大学 名誉教授



■委員会・審議会等

- ・内閣府中央防災会議「災害時の避難に関する専門調査会」委員
 - ・文部科学省：「科学技術・学術審議会」専門委員
 - ・総務省消防庁「消防審議会」委員
 - ・国土交通省：「水害ハザードマップ検討委員会」委員長
 - ・気象庁：「気象業務の評価に関する懇談会」委員
- などを歴任

■受賞歴

- 平成12年度 日本自然災害学会学術賞、横山科学技術賞
平成14年度 国際自然災害学会賞、土木学会論文賞
平成19年度 文部科学大臣表彰科学技術賞
平成23年度 日本教育再興連盟賞、日本災害情報学会 廣井賞
平成24年度 内閣総理大臣表彰（防災功労者）、内閣総理大臣表彰（海洋立国推進功労者）、ヘルシー・ソサエティ賞
平成25年度 宮沢賢治 イーハートープ賞
平成27年度 和歌山県知事表彰

■著書

- ・「人に寄り添う防災」 集英社新書
- ・「人が死なない防災」 集英社新書
- ・「3.11釜石からの教訓 命を守る教育」 PHP研究所
- ・「子どもたちに『生き抜く力』を ～釜石の事例に学ぶ津波防災教育～」 フレーベル館
- ・「みんなを守るいのちの授業 ～大つなみと釜石の子どもたち～」 NHK出版

専門は災害情報学・災害社会工学。

災害への危機管理対応、災害情報伝達、防災教育、避難誘導策のあり方等について研究するとともに、地域での防災活動を全国各地で展開している。特に防災教育については、地域防災と連携した育みの環境ととらえた活動を展開している。また地域防災については、地域の災害文化として、災いをやり過ごす知恵や災害に立ち向かう主体的姿勢の地域での定着を図ってきた。これら一連の活動が認められ、平成24年には防災の功労者として内閣総理大臣表彰を受賞、さらに同年海洋立国日本の推進への功労者としても、内閣総理大臣表彰を受賞している。また平成26年には皇居に招かれ天皇后陛下にご進講もしている。

また、内閣府中央防災会議や中央教育審議会をはじめ、国・外郭団体・地方自治体の多数の委員会、審議会に携わり、研究成果を紹介しながら防災行政の推進にあたっている。主な学会活動として、日本災害情報学会会長、日本自然災害学会理事がある。

集英社新書
SHUEISHA SHINSHO

人に寄り添う防災

著者：片田 敏孝

人に寄り添う防災

片田敏孝
Katada Toshitaka

最後は
「あなた」の判断です。

「人が死なない防災」の著者が、待望の新刊!

集英社新書

発売日：2020年9月17日
定価：本体780円+税
ISBN：9784087211344

こちらから、お手持ちの
スマートフォンで「集英社新書
『人に寄り添う
防災』」へのアク
セスできます。



「人は防災の理屈で動くのではなく、思い合う心で動く」
「自らの命を守ることが、他者の命を守ることに影響する」
「避難しようとするのは、自らの命を大切だと思ってくれる誰かがいることに気づいたとき」
(本文より)

豪雨災害が頻発し、台風が巨大化する。大地震はいつ来るかわからない。
私たちは、荒ぶる自然と、どのような心構えで共存していけばいいのか。

本書は、被災地でのフィールドワークや、内閣府「中央防災会議」での議論などを紹介しながら、高齢者・要支援者の避難誘導、行政に頼らない防災コミュニティの構築、非常時において情報提供者が実践すべきコミュニケーションの要諦など、具体例に基づいた「命を守るための指針」を提言する。ロングセラー『人が死なない防災』の著者が満を持して書き下ろした、待望の新著。

目次

- はじめに——「自粛の要請」とコミュニケーション
- 第1章 荒ぶる自然災害——被災地でいま起きていること
 - 第2章 日本の防災の大転換
 - 第3章 行政主導の防災の限界——ゼロリスク期待の幻想
 - 第4章 地域社会は災害リスクとどう向かい合うべきか
 - 第5章 災害に向かい合う人の心情を理解する
 - 第6章 コミュニティ防災の本質——地域で防災を考える

倉敷市真備地区における 平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興状況

令和2年10月30日
倉敷市

平成30年7月豪雨における被災状況



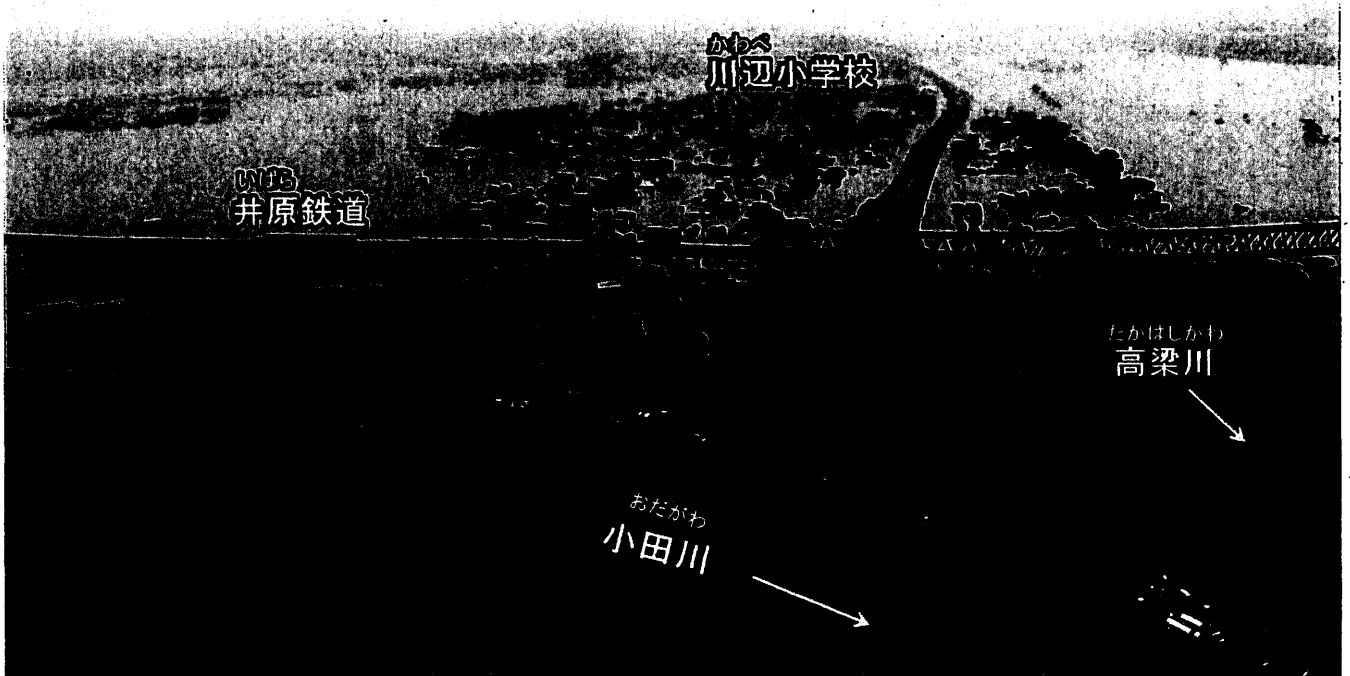
○ 平成30年7月豪雨では、真備地区4,400ヘクタールのうち、1,200ヘクタールが完全に水没するという、倉敷市はじまって以来の未曾有の大災害が発生

- ◆市街地が深さ約5～6mまで水没
- ◆亡くなられた方 73名
(災害関連死 21名を含む)
- ◆全壊・大規模半壊等 5,753世帯



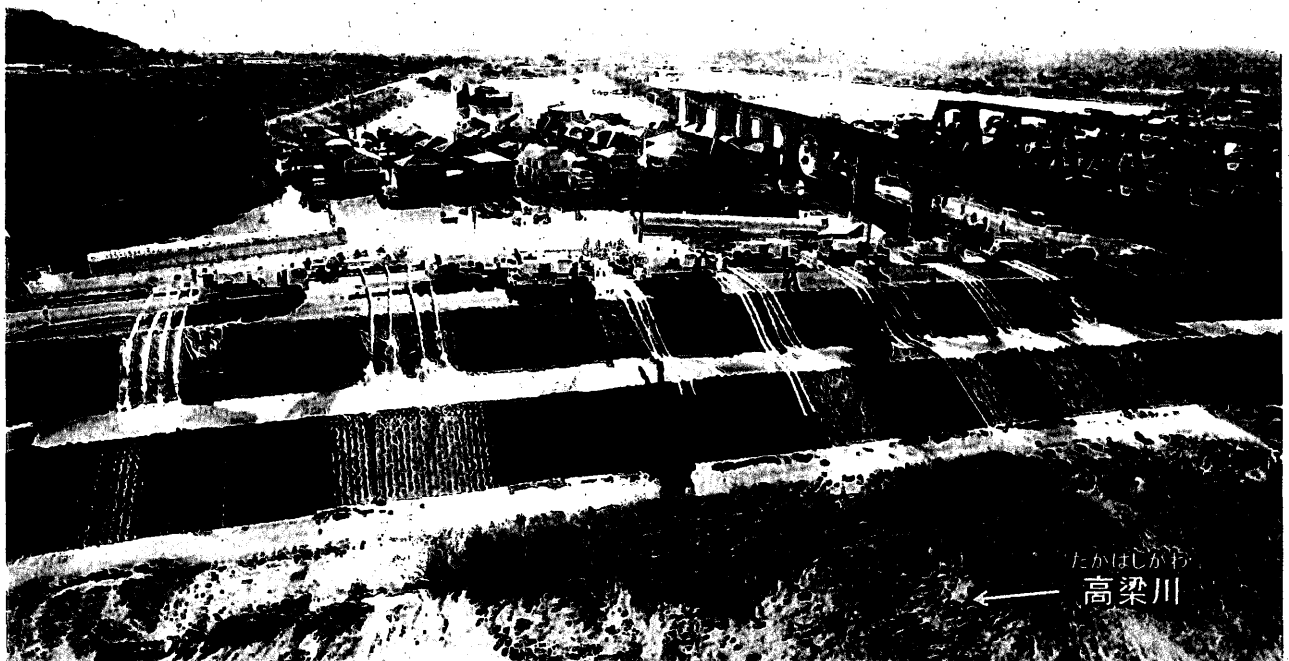
[見渡す限りの市街地が屋根まで水没]

撮影日時：平成30年7月7日 14時-17時頃



撮影日時：平成30年7月7日 14時-17時頃

排水ポンプ車の活動状況



国土交通省の緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)として、
全国からの排水ポンプ車23台、照明車11台が集結
24時間体制で排水を行い、7月11日までに作業を完了した



撮影日時：平成30年7月7日 14時-17時頃

4

末政川の決壊した堤防の改良復旧完了

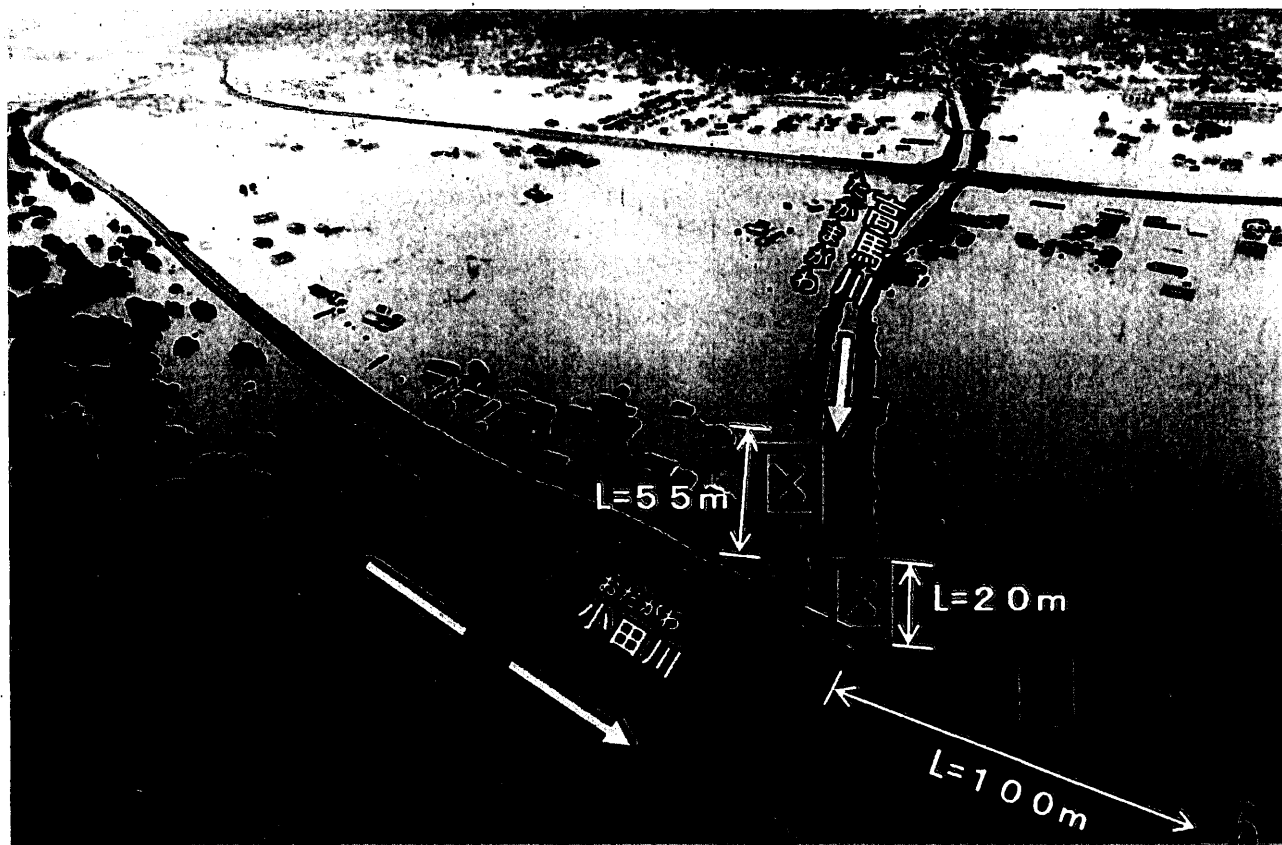
○ 末政川の決壊した堤防の改良復旧が、令和元年9月6日に完了



P.4の復旧状況

5

国管理河川の小田川(3k400付近) および県管理河川の高馬川 堤防決壊状況



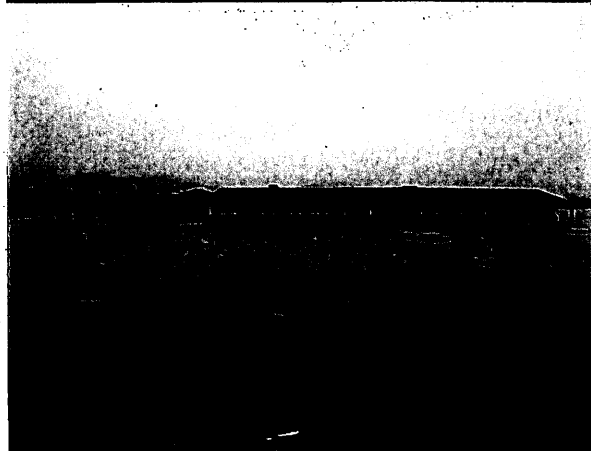
撮影日時：平成30年7月7日 14時-17時頃

小田川の決壊した堤防の本復旧完了 および高馬川の決壊した堤防の改良復旧完了

- 小田川の決壊した堤防の本復旧が、令和元年6月12日に完了
また、高馬川の決壊した堤防の改良復旧が、令和元年6月28日に完了



P.6の復旧状況



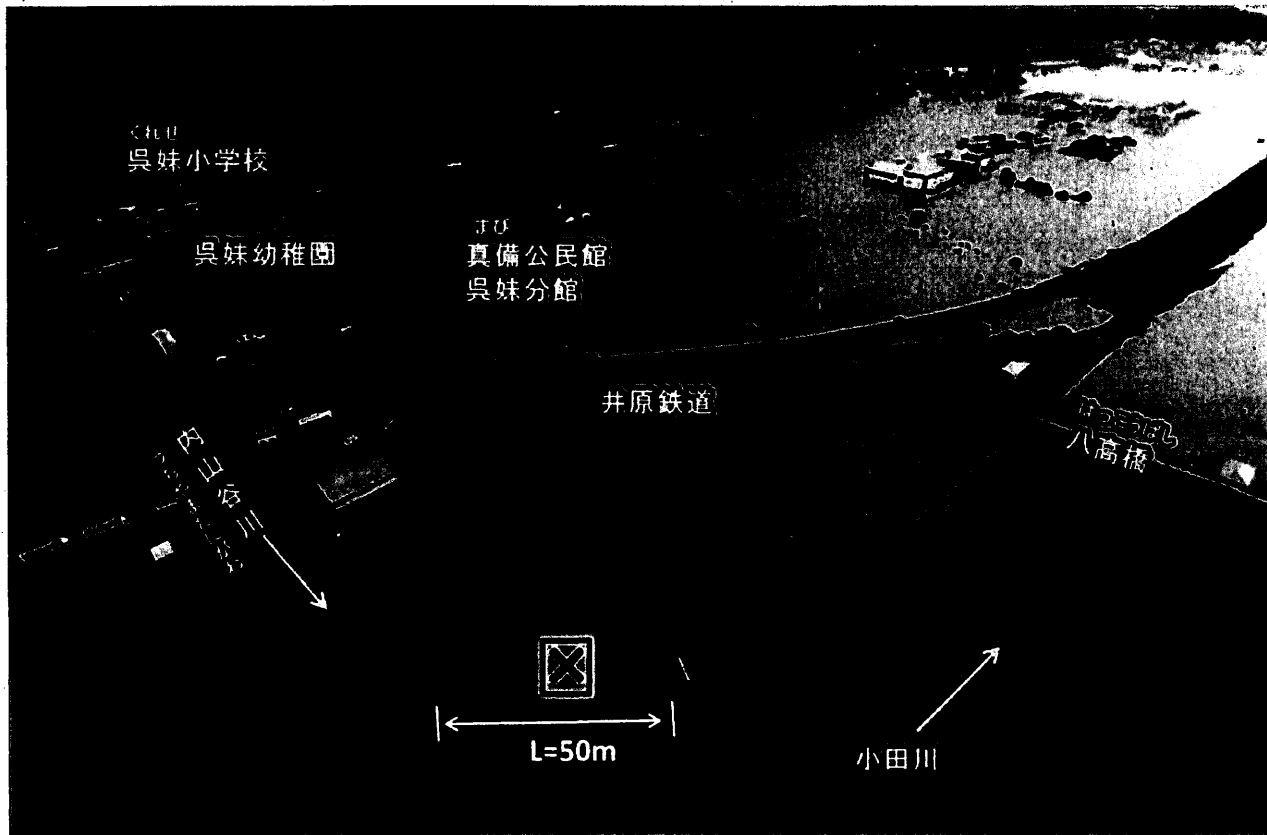
市街地の広範囲で5mを越える浸水被害が発生
(手前は堤防上の道路)

8



決壊箇所周辺では道路・河川等の重要なインフラが
被災するとともに、多くの家屋が倒壊した

9

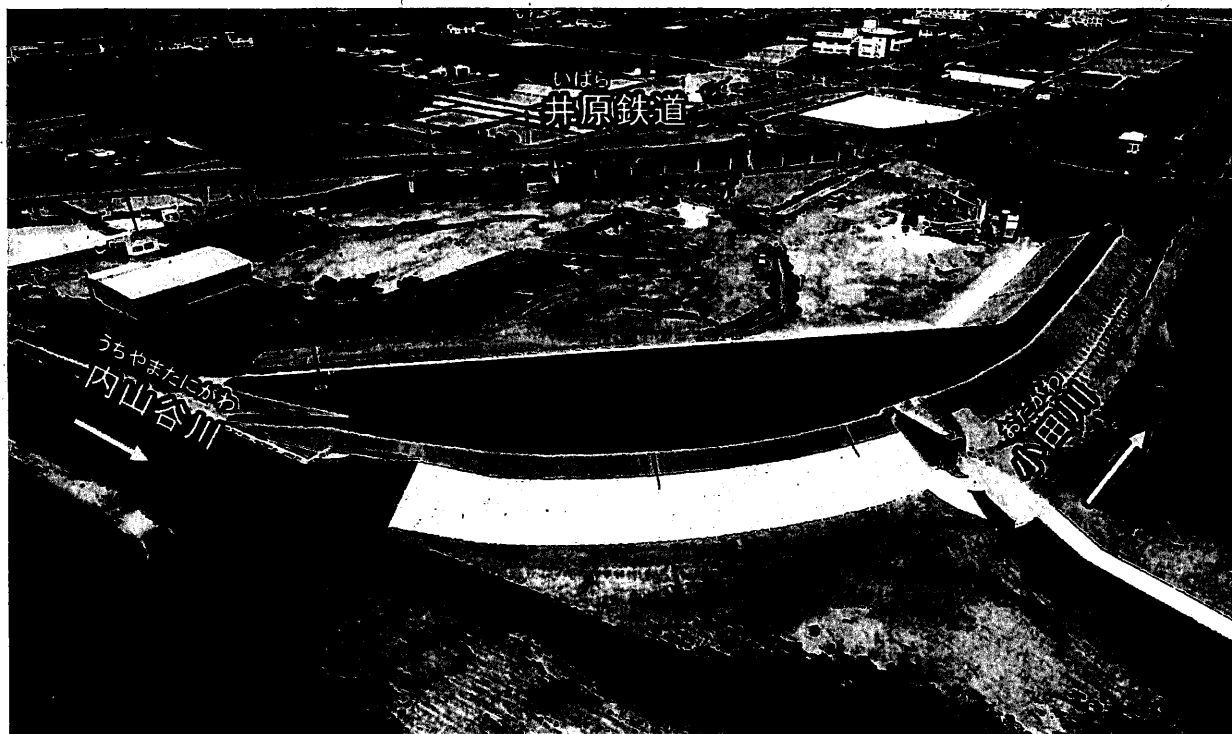


撮影日時：平成30年7月7日 14時-17時頃

10

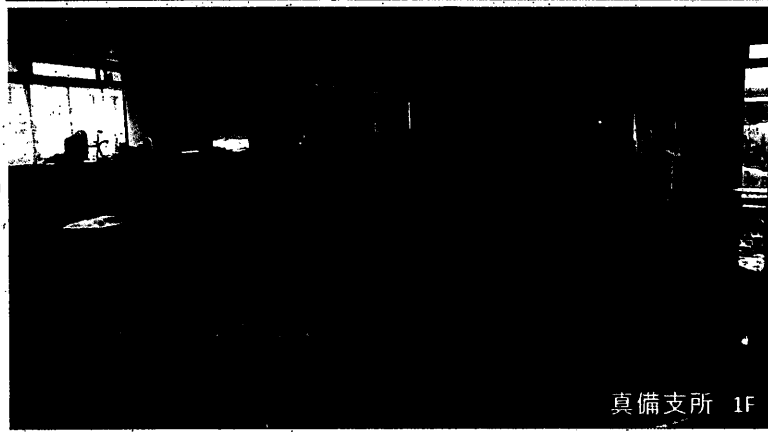
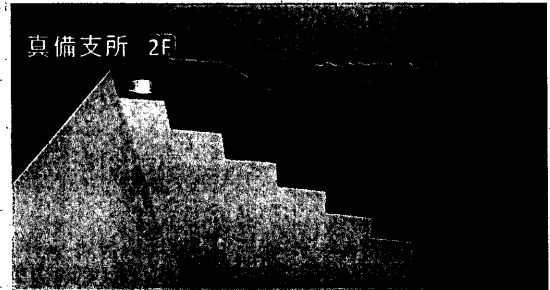
小田川の決壊した堤防の本復旧完了

○ 小田川の決壊した堤防の本復旧が、令和元年6月14日に完了

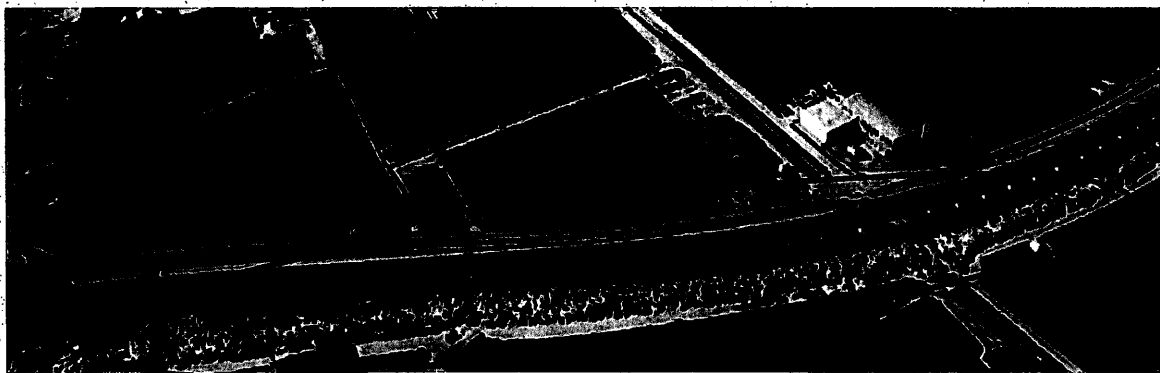


P,10の復旧状況

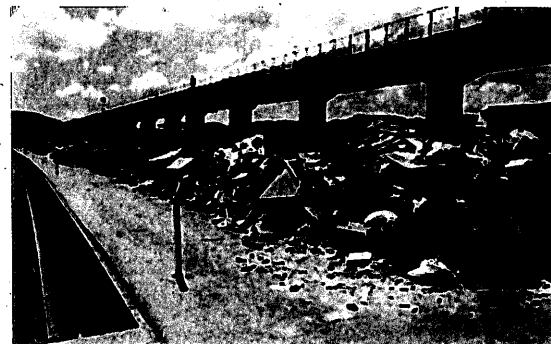
11



災害廃棄物の状況

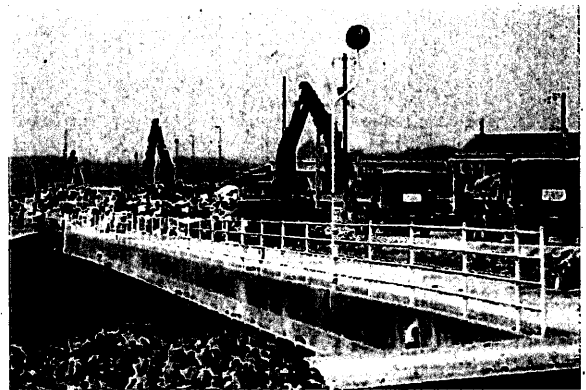
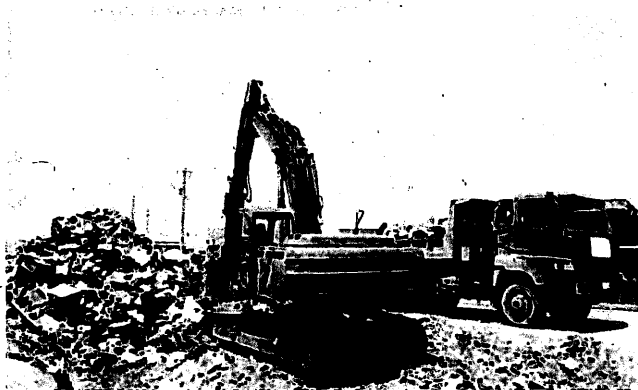


真備地区内の幹線道路沿い約4kmにわたって災害廃棄物が積み上がった



被災家屋から排出された災害廃棄物が地区内のいたる所に積み上げられた

○ 平成30年8月25日 真備地区内の住宅地・道路沿い等から地区外の仮置き場への搬出を完了



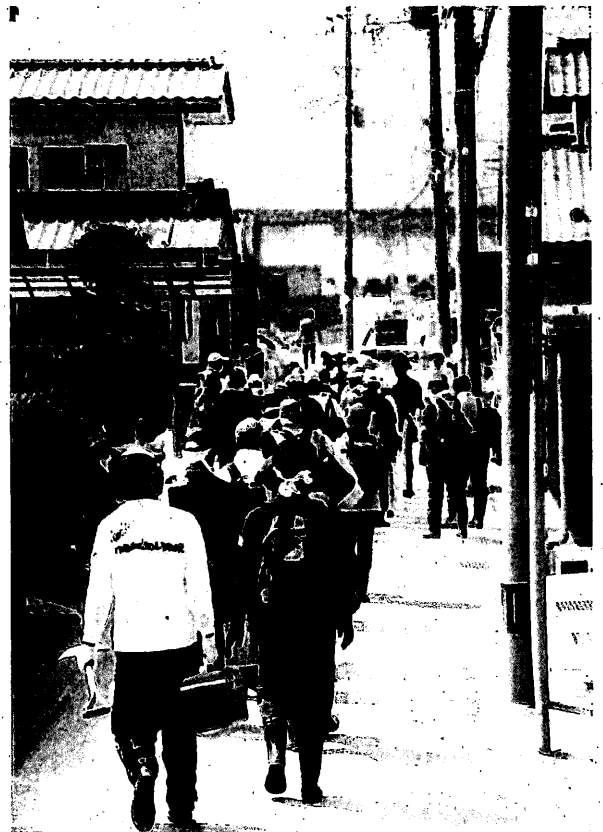
全国からのご支援



全国から寄せられた支援物資



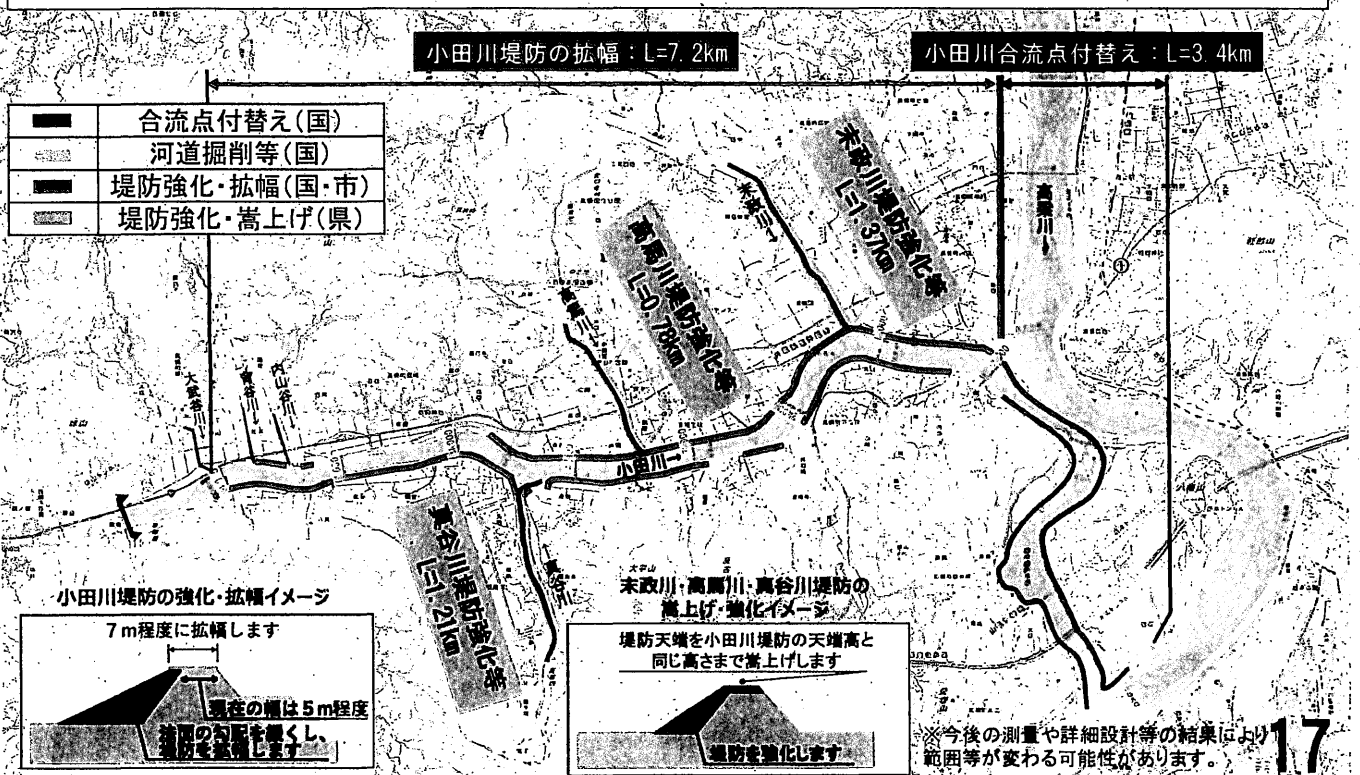
全国から駆け付けてくださったボランティアの皆様



河川の復興状況

小田川及び県管理河川の堤防強化等の状況(国・県・市)

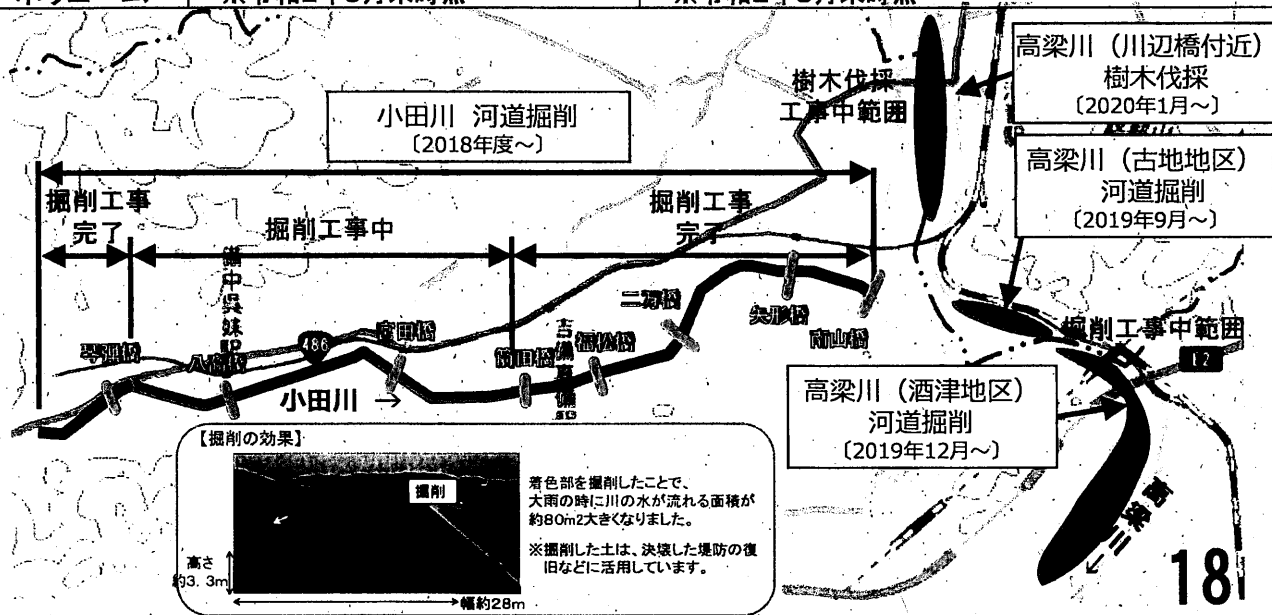
○ 国・県・市の連携・協力により、小田川及び未政川、高馬川、真谷川において、小田川合流点付替え事業や重点的な堤防整備（堤防強化、堤防嵩上げ等）を行うとともに、高梁川・小田川の河道掘削等を実施



小田川・高梁川の河道掘削の進捗状況(国)

○ 小田川・高梁川の河道を掘削し、水が流れる断面を拡大

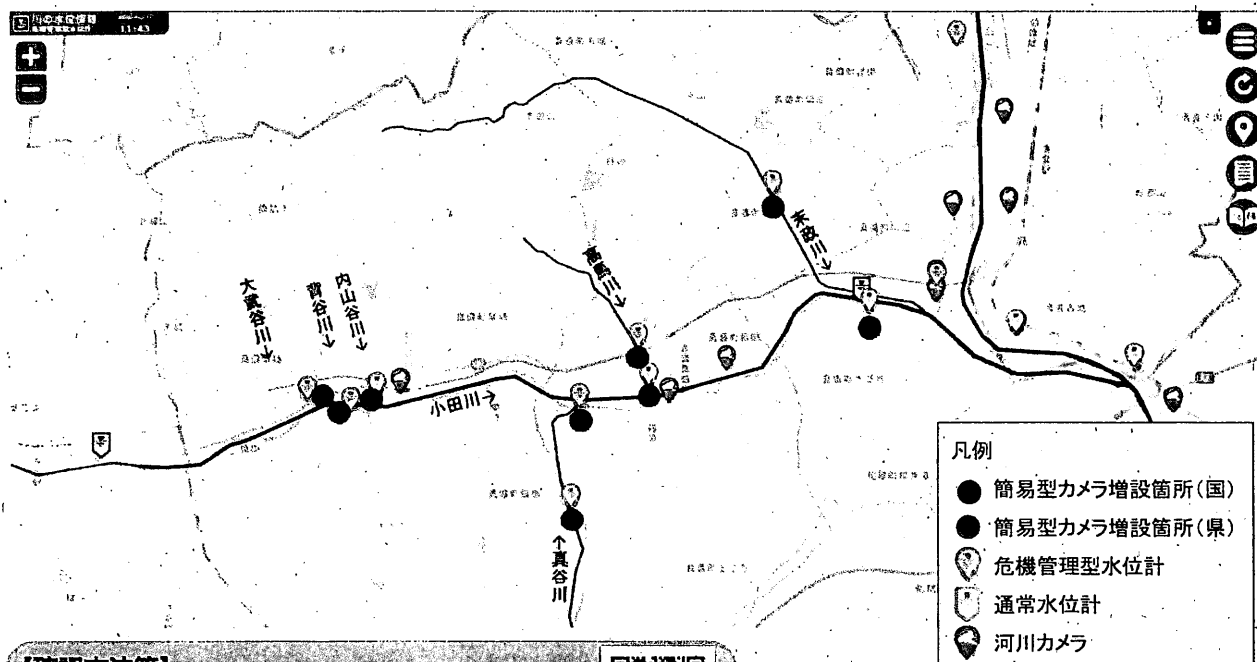
	小田川	高梁川
期間	平成30年度から令和3年度まで	令和元年度から
全体河道掘削量	196,000m ³ (予定)	470,000m ³ (予定) (古地地区 約210,000m ³ , 酒津地区 約260,000m ³)
河道掘削したボリューム	165,000m ³ ※令和2年8月末時点	302,000m ³ ※令和2年8月末時点



18

簡易型河川監視カメラの設置(国・県)

○ 真備地区において既存の河川監視カメラ3基に加え、簡易型河川監視カメラを国が6基、県が3基を昨年度増設し、運用中



【確認方法等】

専用サイト「川の水位情報」からインターネットを通じて、どなたでも閲覧いただけます。
URL <https://k.river.go.jp/>



※河川カメラは、夜間も映像を観ることはできますが、簡易型カメラは、夜間は映像を観ることはできません。

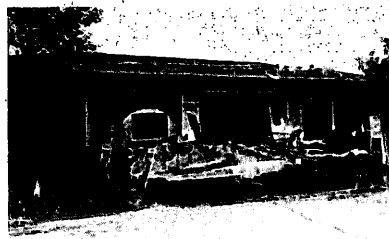
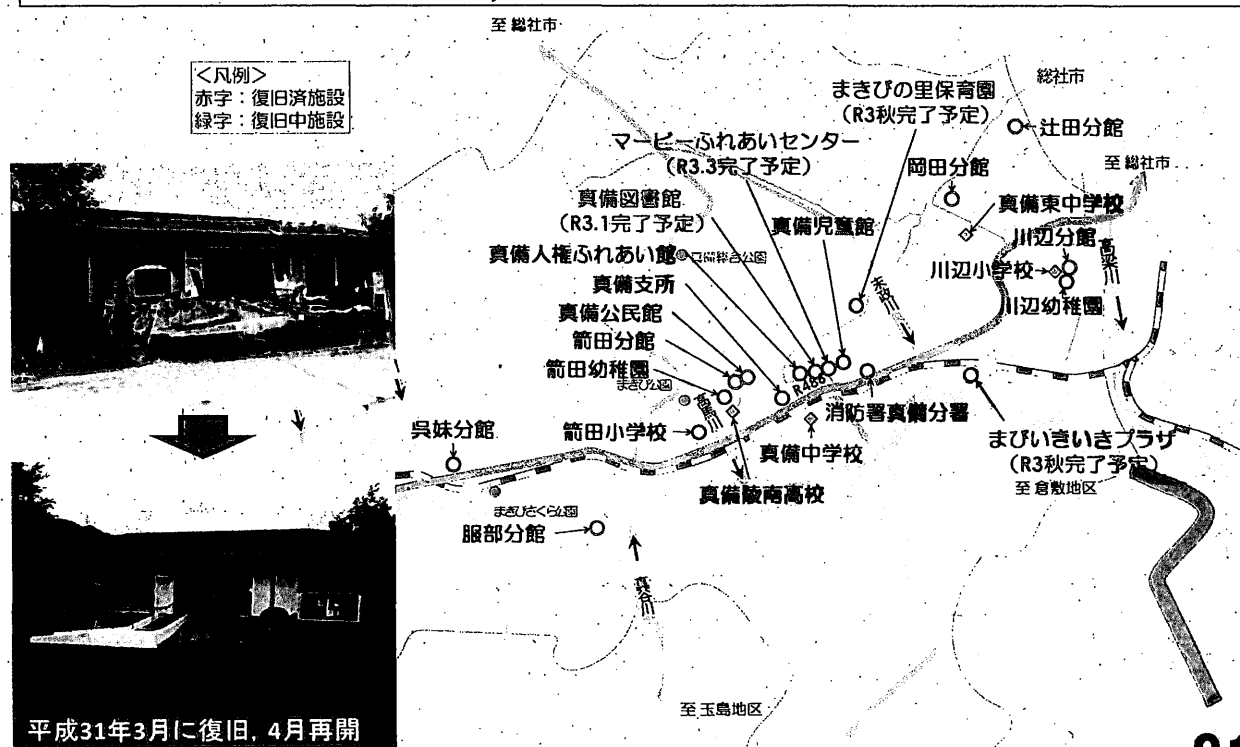
19

公共施設等の復旧・復興状況

公共施設の復旧状況



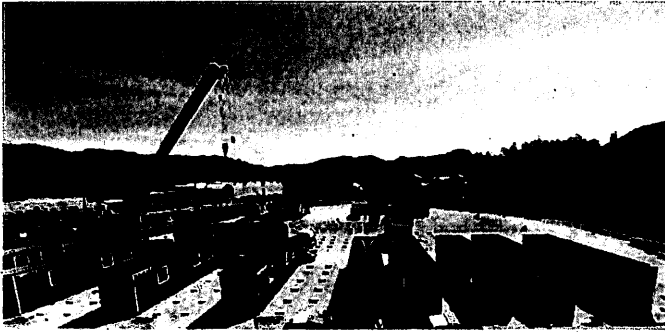
○ 住民の生活に必要となる地区内の公共施設復旧を急ぎ、学校をはじめ、令和元年度内に多くの施設復旧を完了。引き続き、残りの施設の復旧に取り組中



平成31年3月に復旧、4月再開

[真備公民館服部分館]

○ 短期間で整備が可能なトレーラーハウス型仮設住宅を採用し、早期の入居を実現



整備戸数	51戸
着工	平成30年8月3日
完成	平成30年9月7日
供与開始	平成30年9月8日

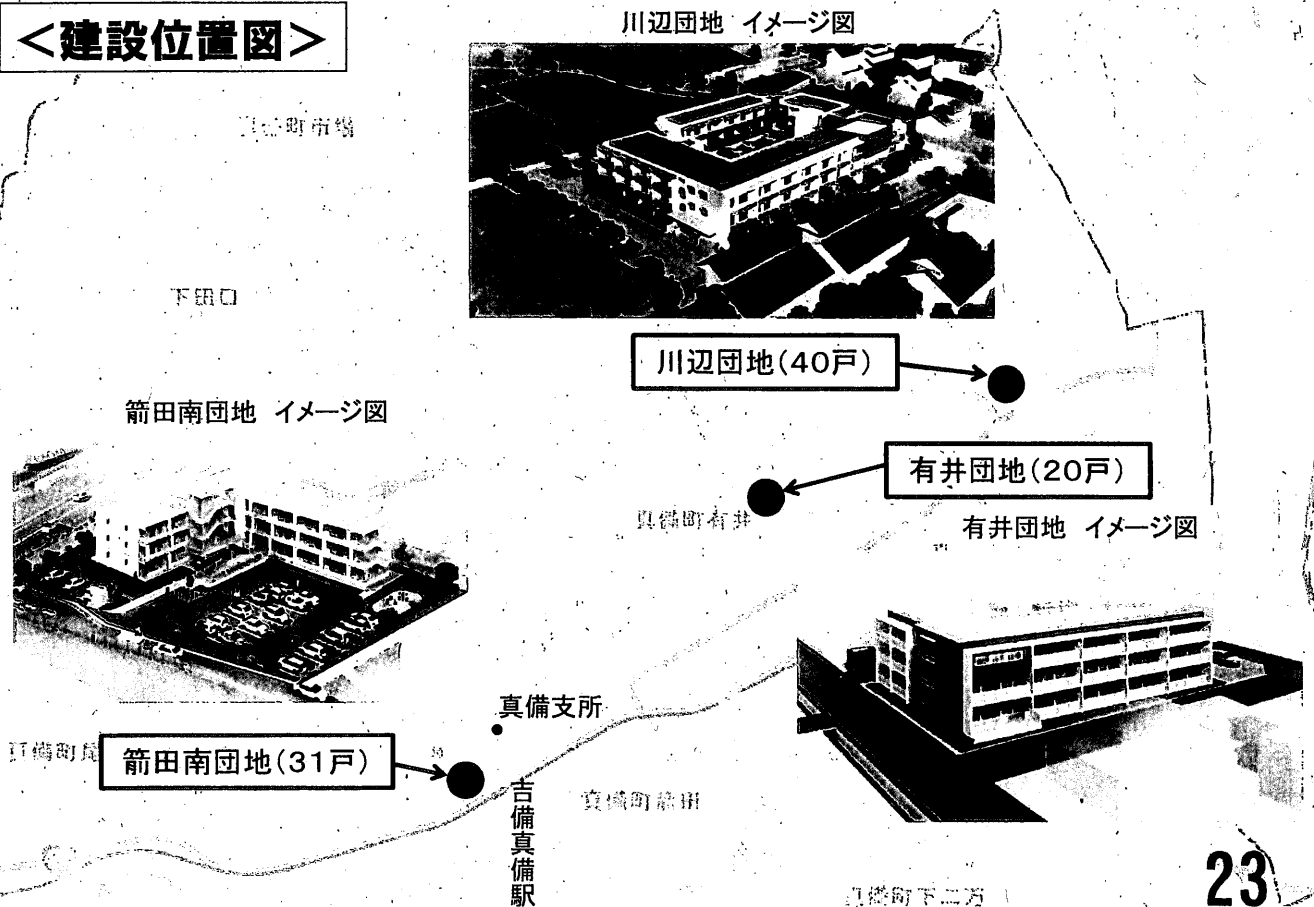
【現在の状況】

・リース期間満了に伴い12戸のハウスを令和2年7月豪雨の被災地である熊本県球磨村で再活用(移動式仮設住宅が被災地から被災地へ再利用されるのは全国初)

・トレーラーハウス型仮設住宅の採用にあたっては、本市での経験を伝え、仕様の画一化や段差解消が図られている

災害公営住宅の整備

<建設位置図>



- 平成31年3月25日 復興に向けた基本理念や基本方針、今後の具体的な取組や事業期間を示した真備地区復興計画を策定
- 計画期間は令和元年度～令和5年度の5年間
- 現在は、計画に基づく具体的な取組を行うとともに、復興の段階に応じた新たな施策を検討・実施

凡例

- 鉄道線
- ←—— 主要幹線道路線
- ←--- 主要幹線道路線(未復旧区間)
- ◇ 広域避難場所
- ◇ 指定避難所(小学校・浸水対策)
- ◇ 浸水時緊急避難場所(新設)
- コミュニティ拠点(公民館分館)
- その他の公共施設(復旧する施設)

小田川堤防の強化・拡張イメージ

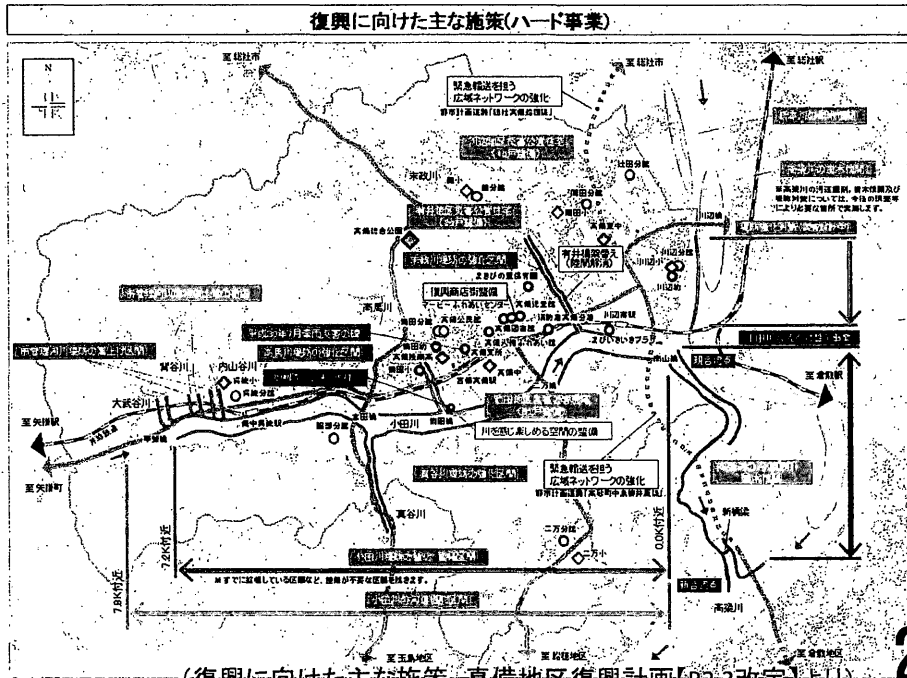
7m程度に拡張
堤防の幅は5m程度
高さを1.5m程度とし
防壁を設ける

赤松川・高尾川・真谷川堤防の強化イメージ

堤防天端を小田川堤防の天端高と同じ高さまで築上げます。

【その他の主な施策(ハード事業)】

- 内水対策対策(雨水貯留装置等)
- 地盤等の治水施設等の改善
- 低利用に耐える構造・統合
- 安全な避難経路の確保(避難経路の確保)
- 避難所施設の確保・整備
- 農地・農業用施設の復旧
- 農地の集積・集約化、大規模化
- 農業生産性向上のための取組
- 農産物直売所の設置



10月30日（金）行政視察 当日のご案内

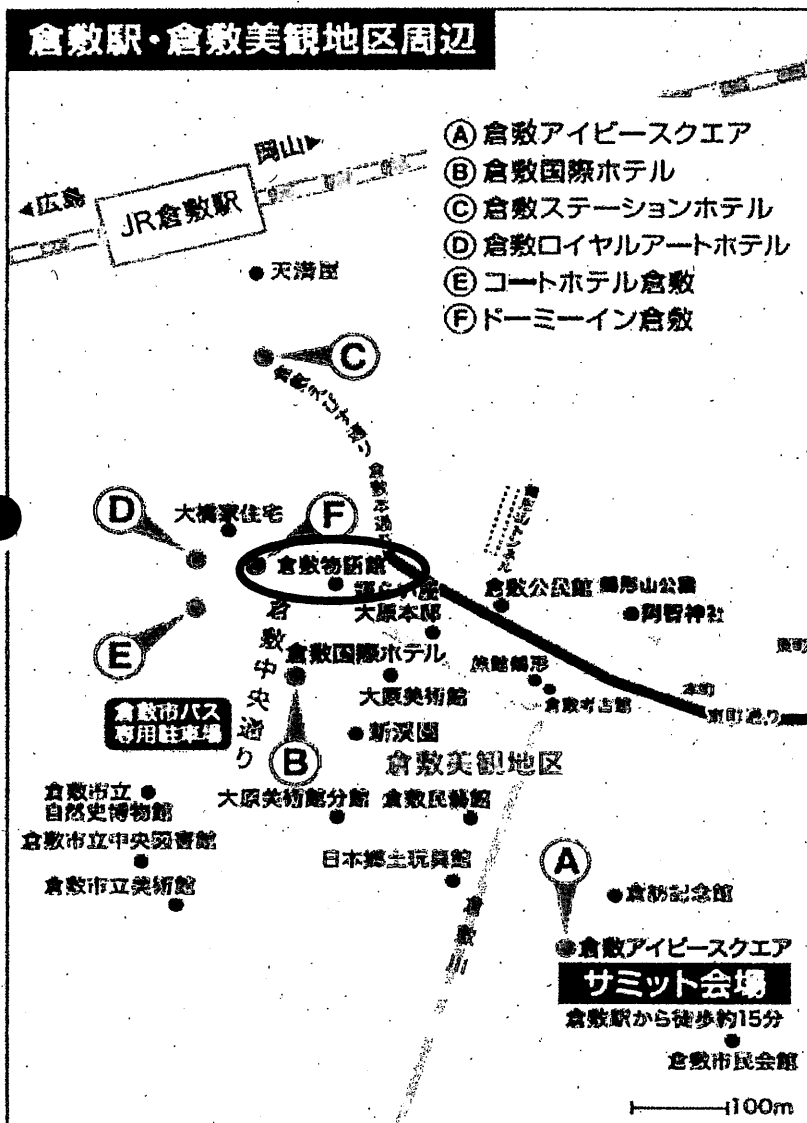
②コロナに「打ち勝つ」観光のまちづくり 倉敷美観地区コース

平素よりお世話になっております。行政視察の集合場所・集合時間について下記にてご案内をいたします。当日は出発時間を厳守いたしますので、集合時間に遅れないようご協力をお願いいたします。

集合時間：10月30日（金）8時30分

集合場所：倉敷物語館前（下記地図参照）

住所：岡山県倉敷市阿知2丁目23-18



集合場所にて受付を行っております。予約確認書または氏名を受付担当者にお伝え頂き、検温を受けて頂きますようお願いいたします。

当日の緊急連絡先は下記となります。

株式会社日本旅行 岡山支店
松浦携帯：080-4376-7349

倉敷散策のガイドブック

大原家と倉敷

語り座 大原本邸 | 大原美術館

歴史と系譜から見る倉敷のカタチ
倉敷を何度でも楽しむ

探索ブック



ぼっけえお得な

倉敷みらい旅

みらい旅だけの
お得な
限定プラン

みらい旅
とは？

販売価格の40%以上のぼっけえ(すこ)お得な、
「今」買って「未来」に泊まれる宿泊プランの前売キャンペーンです。

未来に泊まれる宿泊プランを購入して「今」倉敷を応援してください！
新型コロナウイルス収束後の「未来」にぜひ倉敷へお越しくください！

ぼっけえ
お得！

今だけ！お得なプラン付！

(例)倉敷の地酒セット、地元飲食店の食事券など!!

いつでも泊まれる！

令和4年3月31日(木)まで

※施設・プランによっては除外日があります。

販売価格の

40%

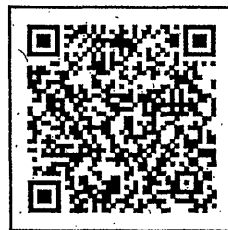
以上

購入方法

STEP 1 ぼっけえお得な倉敷みらい旅
特設ページより販売施設の一覧を
ご確認ください。

STEP 2 ご希望の各宿泊施設の
サイト等で購入してください。

※倉敷市民も購入が可能です。



こちらから
特設ページに
アクセスできます

販売期間

令和2年7月31日(金)まで

ぼっけえお得な倉敷みらい旅特設ページ

倉敷みらい旅

検索

(公社)倉敷観光コンベンションビューロー・倉敷市
お問い合わせ先/TEL.086-421-0224

倉敷市ふんばる事業者応援 事業費補助金 (6月30日時点版)



新型コロナウイルス感染症の影響を乗り越えるため、感染防止との両立を図りつつ、自らの強みを生かして取り組む新たなビジネス展開を応援します。

補助の 対象者

倉敷市事業継続支援金の交付を受けた方又は以下を満たす方

- 倉敷市内の中小企業者又は小規模事業者
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年2月から8月までのいずれかの月の売上高が前年同月比で20%以上減少している事業者

補助の 上限額

20万円 【補助率】補助対象経費の**5分の4**
(1事業者1回のみ)

対象となる取組例

「新しい生活様式」に対応した、市内事業所における
令和2年4月1日以降の新たな取組が対象です。

○業態転換

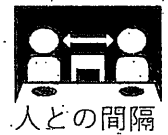
- ▶ テイクアウト、宅配、出張・移動・ドライブスルー販売の開始
- ▶ 生産者（農業、漁業者）による加工、小売の新規実施など



外出控え

○環境整備

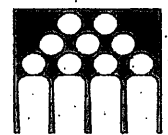
- ▶ 店内間仕切りやカウンター、屋外飲食空間の新設、改修
- ▶ 感染症対策に資する設備や機器の導入
- ▶ 無人券売機、食品自販機、セルフレジ、セルフ注文機器の導入
- ▶ 感染症対策にかかるPOP、看板作成など



人との間隔

○商品・サービス開発

- ▶ マスクや消毒用品など感染症対策に資する商品の開発
- ▶ 調理食品を購入して自宅等で食べる「中食」向け商品の開発
- ▶ 電子クーポン、前売券、予約券等の販売システムの構築
- ▶ サービスのオンライン化（学習・宴会・観光・冠婚葬祭）など



密集回避

○販路開拓・人材確保

- ▶ ECモールへの出店、TVショッピングへの出品
- ▶ オンライン商談、オンライン面接の実施など



密接回避



密閉回避

申請方法など詳細は、裏面をご覧ください

倉敷市内事業者のみなさま

この表示が目印です！



倉敷市で、
新型コロナウイルス対策に
取り組んでいる事業者へ
取組宣言シートを
発行します。

この宣言は、お客様が安心して利用できる環境が一目で見分けることができる目印となります。
実情にあった予防対策に取り組み、
見えないウイルスのリスクを回避し、
事業者の皆様、店舗等の利用者への
安心の提供と感染症拡大を防止するために
全市を挙げて宣言しましょう。



新型コロナウイルス感染症拡大の影響により「新しい生活様式」が求められる中、
感染予防対策を図りながら営業を行うことが重要となっています。

倉敷市内事業者の営業活動を支援するため、市内統一の「チェックシート」の作成により
事業者が自主的に取り組む感染予防対策の検討を補完し、取り組みを宣言した事業所には、
分かりやすく表示できるツール「取組宣言シート」を提供することにより、
感染予防対策の「見える化(可視化)」をバックアップします。

○ **対象：新型コロナウイルス感染予防対策に取り組む市内事業者**

※「飲食店」「小売店」「宿泊施設」「共通」の4種のチェックシートがあり、全業種対応

○ **申込期限：令和3年3月19日(金)〈必着〉** **申込無料**

○ 宣言事業所は、特設ホームページ等で公表も行います。

○ 申込先は所在地ごとに5つのエリアに分かれ、
「WEB」または「郵送」で申込できます。

詳細は裏面をご確認ください



あんしん 補助金

対象施設

市内の宿泊・コンベンション施設

対象事業

- ①観光客受入環境の充実
- ②感染防止に資するサービス開発
- ③衛生対策の見える化・PR

補助上限額

200万円

補助率

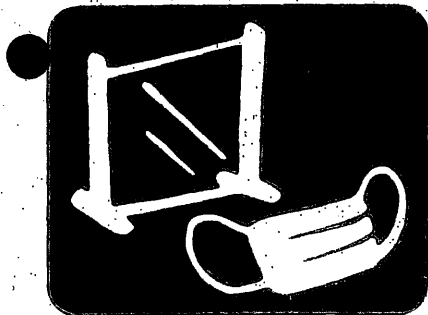
5分の4

新型コロナウイルス対策

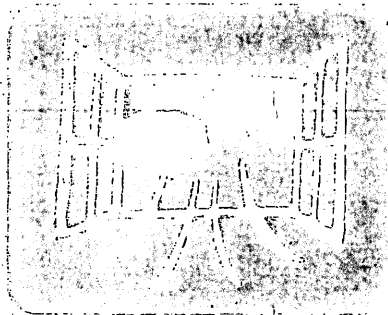
取組宣言

私たちは、次の感染予防対策に取り組んでいます。

飛沫防止策

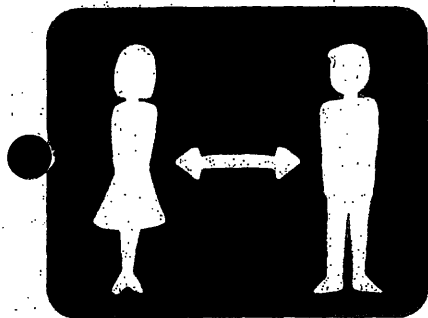


施設の換気



施設の消毒

対人距離の確保



手指消毒設備の設置



従業員の体調管理



独自の取組

宣言
事業所名

感染症対策へのご理解・ご協力をお願いします。

倉敷市 倉敷商工会議所 児島商工会議所 玉島商工会議所 つくば商工会 真備船穂商工会



宣言事業所
一覧は
こちらから